

事業概要：「グリーンエボリューション（緑の進化）」への挑戦！
環境と競争力の両立による持続可能な地域づくり推進プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	511,160千円 (72,610千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	「環境にやさしい農業の高度化」と「稼げる農業」の両立により、持続可能な農林水産業への進化「グリーンエボリューション」を実現し、食料の安全保障を強化するとともに、地産地消による消費意欲の向上と新たな販路開拓等による競争力の強化により、地域における経済の自立的好循環を促し、SDGsの理念に沿った魅力的で持続可能な地域づくりを行うことで、地方創生の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 環境に配慮した有機農業技術やゼロカーボン化を進め、生産性向上と両立する農業モデルを構築する。また、SNS等を活用した地産地消の機運醸成や販売店支援を行い、県産品の消費拡大を図る。さらに、商品力強化や専門家支援、物産フェア等を通じて新たな販路開拓を進め、県内事業者の市場拡大を支援する。	 施設園芸(トマト)やカンキツ栽培における 有機農業に即した病害虫防除体系の確立  熊本フェア	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○有機農業技術の確立と地域環境づくり ・病害虫防除技術の実証等（委託料等）12,555千円 ○地産地消やSDGsに対する機運醸成と消費意欲の向上 ・地産地消推進基盤の強化等（委託料等）14,089千円 ○商品の磨き上げとマーケティング力の向上 ・テストマーケティングの実施等に対する補助（補助金）7,667千円 ○首都圏等への販路拡大 ・首都圏百貨店と連携した熊本フェア開催等（委託料等）19,722千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①有機農業に取り組む農業者数（+139人） ②県地産地消ホームページの閲覧数（+17,300PV） ③伴走型支援を行った中小企業者のうち、支援を実施する前年度から、経常利益が年率1%以上向上した中小企業者数（+160社）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

事業概要：産業の創出・集積に向けたエコシステム形成及び空港機能強化プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	610,509千円 (79,112千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	阿蘇くまもと空港周辺地域を拠点に、熊本の強みであるライフサイエンス分野（医療、健康、農業等）を中心とした新たな産業の創出を目指す「UXプロジェクト」を推進する。併せて、空港における国際航空貨物輸送の実現に向けた取り組みや2023年春の新ターミナルビル供用開始に向けたPR等を展開し、空港の機能強化や周辺地域の拠点性向上、さらには将来にわたる本県の持続的な成長につなげる。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県が中心となり、企業・大学など多様な主体と連携しながら、新産業創出に向けた基盤づくりを進める。主な内容として、人材の発掘・育成に向けたイベントの開催、コーディネーター配置によるネットワークの形成、イノベーションハブの整備・運営、研究からビジネスまで活用できるデータ基盤の構築などを実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○UXプロジェクトの推進 ・各種イベントの開催、情報発信（委託料）4,953千円 ・マッチングプログラムの実施、協業等を促進するコーディネーターの配置等（委託料）39,229千円 ・テクノロジーパーク内の先行的な交流拠点施設の管理運営（委託料及び賃借料）30,074千円 ・支援機関、大学、民間事業者等と連携した研究開発型スタートアップの掘り起こしや創業、研究開発支援（委託料等）4,160千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①UXプロジェクトの取組みに係る企業等のマッチング・協業件数（+32件） ②UXプロジェクトの取組みに係る企業・団体等の参画数（+260者） ③阿蘇くまもと空港の利用者数（+371万人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

事業概要：世界のマーケットへチャレンジ！
新たな自然共生型産業創出・販路開拓プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集	
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	284,266千円 (7,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野	
目的・効果	県内における自然共生型産業の売上額等を更に拡大するとともに、海外への積極的な販路開拓・拡大など新たな事業展開を図るため、「新規事業創出、既存事業イノベーションへの支援」、「デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点的な支援」、「輸出障壁への対応に係る支援」の3つの柱で、本県におけるイノベーションを活性化 するエコシステムの形成を推進し、地域経済を活性化させることで、地方創生を深化させる。			
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少や災害、コロナ禍で地域経済が縮小する一方、自然共生型産業の成長が期待されている。新規事業創出の停滞、売上伸び悩み、輸出障壁などの課題に対応するため、外部機関と連携した新規事業創出支援、AI・IoT等デジタル技術を活用した地域経済牽引事業への重点支援、輸出規制対応や認証取得支援などの輸出ソリューションを実施し、産業成長と地方創生の深化を図る。		 商談会の様子	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○輸出先進モデル育成支援 ・輸出規制対策や新市場開拓等の先駆的取組に挑戦する個別事業者への支援（補助金）7,000千円			
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域経済牽引事業における支援対象となる設備投資に対する支援事業者の付加価値額の増加額（+669,900千円） ②オープンイノベーションプログラムによる県内企業と外部機関との協業数（+15件） ③規制市場へのチャレンジによる県内事業者と海外市場との新規取引件数（+45件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

事業概要：

「熊本の底力を！」新たな時代の流れに向けた企業の魅力向上、
人材の育成発現プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	602,518千円 (88,122千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	熊本地震、令和2年7月豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ中小企業者の事業継続と発展を推進することにより、企業の魅力向上を図るとともに、県内の優秀な若者の育成・地元定着、外国人受け入れのための環境整備による人材確保を図り、県全体の経済の活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 中小企業者の経営課題に応じた専門家派遣、AI・IoT等を活用した生産性向上支援、起業セミナー開催、中小企業協同組合のデジタル化推進、ICT・ドローン等を活用した人材育成、地域課題解決型教育、県立高校の連携プロジェクト、テレワーク等多様な働き方推進、外国人材受入のための日本語教室や情報発信を実施する。		 デジタル相談窓口 ポスター  中学生向け パンフレット
	【R8年度事業 経費内訳】 ○中小企業者経営改善等推進事業 事業者への専門家派遣や相談会等の開催（委託料）49,975千円 ○中小企業生産性向上等推進事業 ATやIot等を取り入れた生産性向上のための支援（委託料）19,480千円 ○熊本スーパーハイスクール構想 先端記述の関連企業や大学教授等の講師費用等（報償費、使用料等7,192千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①事業を活用した事業者のうち、前年と比較して財務状況が好転した事業者数（+960社） ②DX（デジタル化）のために専門家を活用（派遣）した事業者数（+3,600社） ③県立高校の連携先企業等の数（+34者） ④外国人雇用事業者数（+390社）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

事業概要：くまもとDXグランドデザイン推進プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	252,713千円 (27,934千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	DX（デジタルトランスフォーメーション）を熊本の将来の発展につなげるため、産学官が連携してDXを推進する共通の羅針盤となる「くまもとDXグランドデザイン」を令和3年度に策定。このグランドデザインに基づく取組みの裾野を広げるため、推進体制を整備し、取組事例を蓄積・横展開することで、県内におけるDXの機運醸成に取り組む。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 DX推進体制を整備するため、産学官連携によるDX推進コンソーシアムを設立し、啓蒙活動、情報発信、セミナー開催、相談環境づくり、共創機会の創出を行う。また、農業の生産・流通現場にデジタル技術を導入し、栽培環境や技術を可視化・分析して生産力を強化する。	 DXセミナー  次世代型果樹園モデル実証	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○DX推進に係るコンソーシアムの運営 ・①DX共創アカデミー（セミナー等を通じた人材育成）、②DX共創マーケット（イベント・展示会、交流機会創出）、③DX共創ラボ（WGによるグランドデザイン、地域課題解決）を実施する。 （委託料）27,934千円 ○農業生産へのデジタル技術の導入 ・生育データの収集・分析、気象データと連携した栽培管理等を行う。 （委託料）1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①DXグランドデザインに基づく取組みプロジェクトの数（+70件） ②コンソーシアム参加団体数（+200団体） ③イチゴ「ゆうべに」の作付面積（+20.4ha） ④実証経営体におけるデコポンの出荷率（+12%）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

事業概要：国際スポーツ大会を契機とした観光基盤整備プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	熊本県、熊本市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	481,491千円 (91,152千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	2019年の大規模国際スポーツ大会のレガシーを引き継ぎ、更に積み重ねることで、交流人口拡大と地域活性化を図るため、本県が強みを持つバドミントンの国際大会の定期的な開催を目指す。さらに、社会の変容に応じたワーケーション等の新たな観光スタイルに対応し、県内周遊促進や新たな交流・関係人口の創出を図ることで、国際スポーツ大会を起爆剤とした持続的な経済効果を生み出す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 近年の災害やコロナ禍で観光客が大幅減となる中、国際スポーツ大会の開催実績を活かし、バドミントン国際大会を誘致して交流人口拡大と地域活性化を図る。大会開催による誘客効果を県内全域へ波及させるため、企業スポーツの特性を生かした誘客、地域周遊プログラムの造成、ワーケーションなど新たな観光需要の創出に取組み、継続的な関係人口の拡大と地方創生につなげる。		 
	【R8年度事業 経費内訳】 ・国内外の選手・スタッフ及び観客等を円滑に受け入れるための国際スポーツ大会運営の実施（負担金）70,629千円 ・国際バドミントン大会での熊本でおもてなし促進事業負担金）13,333千円 ・新たな観光スタイル促進事業（委託料等）7,190千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①国際大会の観客数（+39,000人） ②熊本県ワーケーションネットワーク参画事業者等数（+90者） ③滞在・交流プログラム利用者数（+340人）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	398,497千円 (38,726千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	農林漁業者の所得向上のため、生産から販売までの各事業者の連携による付加価値創出等、フードバリューチェーンの最適化に取り組むとともに、生産性向上、生産コスト削減、販売ニーズに応じた安定供給等、持続可能な生産体制の構築に取り組む。また、国内での流通体系の確立、輸出に対応した商品づくりやプロモーション等販路拡大に取り組み、稼げる農林水産業の実現、ひいては「日本の食料安全保障の一翼を担うかもと」の実現と地域活性化を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 フードバリューチェーン最適化のための意識共有の場の創出、人材育成や機器再配置による機能強化、あさり保護育成技術の移転とチヌ類駆除支援、ブリ人工種苗生産技術の導入と移転、クマモト・オイスターの種苗生産・養殖技術開発、トレーサビリティ体制整備、産地識別シール活用、輸出支援や海外販路開拓、プロモーション等を実施する		 熊本県産あさり産地証明支援システム 出荷の登録 → 流通業者 → 入出荷の登録 → 販売店 → 入荷・販売の登録 → 消費者 漁協 → 流通業者 → 販売店 → 消費者 アサリの流れと一緒にQRコードをバトンのように受け渡し、産地証明書の情報を更新
	【R8年度事業 経費内訳】 ○フードバリューチェーン構築支援 ・農産物輸送効率化に向けた地域課題検討チームでの検討結果を踏まえた機材導入等経費（補助金）1,000千円 ○国内でのあさりの流通体系「熊本モデル」の効率化や認知度向上 ・「熊本モデル」の整備・検証（負担金）8,292千円 ○農林水産物・加工食品の更なる輸出拡大 ・市場調査及びターゲット市場・品目の選定（委託料）3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①事業の実施により、フードバリューチェーンの課題解決につながった取組みの割合（+86.1%） ②熊本県産あさり販売協力店舗数（+1,745店舗） ③輸出支援コンシェルジュによる事業者支援数（+37件） ④ブリ人工種苗の試験生産を開始した種苗生産施設（+4件）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	262,658千円 (38,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	本県ならではの価値を明確化させ、観光地としての基盤を固めるとともに、SDGsをテーマとした高質かつ新しい教育旅行の受入体制強化や、観光関連データの「見える化」によるDX推進に、県と観光事業者、地元関係者等が丸で取組むことで、熊本の魅力・ブランド力を高め、熊本への誘客を推進する。併せて、半導体受託生産最大手であるTSMC（台湾）の熊本進出を受け、台湾からのインバウンド誘客強化を通じた地域経済の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 災害やコロナで落ち込んだ教育旅行需要を回復するため、SDGsなど学校ニーズに合う地域資源を掘り起こし、魅力的なプログラムを開発する。観光施策の成果を統一指標で集約し、観光DMPとして「見える化」する。TSMC進出を契機に増加が見込まれる台湾観光客をさらに誘致するため、現地ニーズに即したプロモーションを展開する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○台湾教育旅行受入体制構築事業 ・受入検討会、学校意識調査、マッチング等（委託料）8,500千円 ○スマートツーリズム基盤創生・活用事業 ・観光DMPを活用したマーケティング等（委託料）15,000千円 ○台湾インバウンド誘客強化事業 ・マーケティング、情報発信等（委託料）15,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①熊本県の外国人延べ宿泊者数（+342,000人） ②熊本県の教育旅行宿泊者数（+43,500人） ③観光DMPを活用して立案・実行・結果集約・評価された観光関連施策の事業数（+120事業） ④不知火海の魅力発信動画のYouTubeの再生回数（+200,000回）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

事業概要：シリコンアイランド九州の復活へ！

ビッグチャンスを生かした熊本の持続的発展プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	434,424千円 (18,788千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	台湾の世界的半導体メーカーの国内初となる新工場建設というビッグチャンスを生かし、半導体関連産業等の将来を担う人材の育成、新工場周辺地域の渋滞・交通アクセスの改善、ゼロカーボンの推進、国際的な教育環境の整備等に取り組むことで、県内への波及効果を最大化させるとともに、将来的にはシリコンアイランド九州の復活につなげ、半導体の安定供給を通して日本の経済安全保障に貢献する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 世界的半導体メーカー進出を契機に半導体産業の集積を進め、産学官連携による人材育成、小中高生への半導体教育強化を推進する。また、菊陽町周辺の渋滞対策として通勤バス実証や公共交通利用促進を行い、交通環境を改善する。さらに、再エネ需要に対応するため既設太陽光の長期安定化やVPP構築を進め、外国籍児童の増加に備えインターナショナルスクール整備も支援し、国際的な教育環境を整える。	 半導体関連人材育成	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○県立高校の半導体関連人材育成 ・学校が実施するキャリア教育に係る費用の支援等（委託料等） 18,788千円	 インターナショナルスクール	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業の高校生向け教育プログラムへの延べ参加生徒数（+21,100人） ②インターナショナルスクールの児童生徒数（+65人） ③セミコンテックパーク周辺企業の公共交通通勤者数（1日あたり／年平均）（+950人） ④当事業によってアグリゲーター事業を開始した事業者数（+1者）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

事業概要：五木村の「宝＝森林資源」をフル活用した”ひかり輝く”新しい五木村の実現！

旧制度（推進）

グリーン成長加速化総合対策プロジェクト

申請者	熊本県、五木村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	185,696千円 (67,828千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	・五木村の豊富な森林資源や県有林をフル活用し、適切な森林整備を実施しながら、林業の川上から川下までの森林資源の高付加価値化、林業担い手の確保・育成や所得向上等など林業施策を核とした取組みを推進。 ・さらに、これら取組みをモデルとして、林業関係者をはじめとした様々な関係者と連携を図りながら、県内の同様の課題を抱える地域に横展開・普及して五木村だけでなく他地域の地方創生にも繋げる。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 五木村をモデルに、低コスト・花粉症対策造林の実証等を進め、循環型林業の構築を図る。また、林業大学校の機能強化や自伐型林家への包括支援、DX活用による調査効率化・安全性向上など、人材育成と働く環境整備を推進する。さらに、特用林産物や木材の高付加価値化に向けた販売戦略の構築、公園整備を行う。	 地域一体となった森林管理手法の検討	
	【R8年度事業 経費内訳】 1 循環型林業の構築を通じた林業活性化（委託料）8,635千円 ・低コスト・花粉症対策再造林技術の有効性等の実証調査 2 林業を支える「人材」の発掘・育成（委託料）17,806千円 ・自伐（型）林家の自立に向けた支援 ・林業DX人材育成のためDXアドバイザー派遣や研修会の開催等 3 森林が生み出す新たな利益の最大化（工事費等）42,100千円 ・森林資源利活用の手法の検証への支援 ・端海野キャンプ場内の施設改修・整備工事	 自伐（型）林家の定住促進  林業DXの推進  村内の人材の活用と村外の企業等と連携 → 出口戦略・森林資源の高付加価値化の検討	
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①熊本県における農林水産就労者数（+9人） ②五木村の再造林率（+20%） ③五木村の素材生産量（+4,196㎡） ④五木村の林業事業体におけるDX技術導入事業体数（+3者）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	368,601千円 (102,609千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	国家プロジェクトでもあるTSMC進出をはじめとした半導体産業の集積による経済発展と環境保全を両立できるよう、水資源の保全や環境負荷の低減に取り組むとともに、農地の確保・担い手の確保育成や畜産業の生産性の向上に取り組むことで、本県の基幹産業である農業の持続的発展につなげ、半導体産業と農業の共存共栄を目指し、県土の均衡ある発展を目指す。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地下水涵養手法の検討と水循環シミュレーションによる影響検証・広報、環境保全対策の周知、環境負荷の低い半導体製造技術の開発と普及、貸借可能農地の把握とマッチング、飼料・堆肥の広域流通、新技術を活用した高品質枝肉生産、繁殖雌牛・乳用牛導入支援、県南地域のニーズ把握と構想づくり、企業参入促進の情報発信や交流会、セミナー等を実施。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○地下水保全等 ・周知啓発（委託料）5,910千円 ・半導体関連企業の集積に伴う地下水保全対策の検討（委託料）3,000千円 ○環境負荷の低い半導体製造装置の開発 ・低環境負荷型半導体製造装置の開発支援（一般需用費）140千円、（備品購入費）9,038千円 ○地域の特徴を生かした稼げる農業の確立 ・高能力な肉用雌牛群及び乳用雌牛群の整備（27,844千円）		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①熊本県における農林水産出荷額（+4,018,748千円） ②県有種雄牛の選抜頭数（+2頭） ③プロジェクトにおける知的財産化件数（+2件） ④地下水の人工かん養量（大津町及び菊陽町）（+310万m3）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

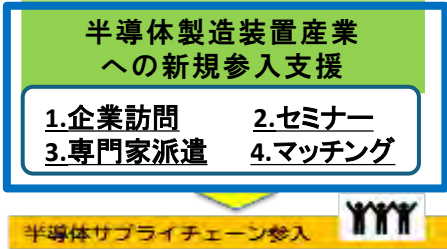
事業概要：若者の定着・関係人口創出プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	熊本県	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	188,454千円 (62,818千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	本県の将来を担う高校生を中心とした若い世代を対象に、地域をフィールドとした課題解決学習や伝承芸能活動を通して地域への愛着を育み、若者の地元定着を図るとともに、県外在住者に対して本県の魅力を発信し、熊本ファンの獲得や地域活動参画へのマッチングを行い、関係人口の創出・拡大を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少や若者の県外流出、地域コミュニティの衰退が進む中、子どもから高校生までの段階的な地域への愛着形成と、県外在住者を含む関係人口の拡大に取り組む。高校では地域課題を扱う探究学習を推進し、小中学生には伝承芸能を通じた交流で文化継承を図る。さらに県外在住者と地域活動をつなぐ仕組みや魅力発信を強化し、将来も若者が住み続けたい地域づくりを目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・伝承芸能団体の地域間交流への支援、芸術家等による指導等（会場使用料、謝金等）2,000千円 ・地域活動への参加希望者と地域をマッチングする仕組みの運用等（委託料）26,366千円 ・福岡県における県内市町村PRイベントやマッチングイベントの開催（委託料）20,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン数（+90人） ②子どもたちによる地域間交流団体数（+5団体） ③マッチングシステムを活用して地域活動へ参画した人数（+120人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/18/258003.html

事業概要：くもと新時代を勝ち抜くための企業成長プロジェクト

継続

申請者	熊本県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	551,775千円 (166,976千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域課題である人手不足解消に向け、外国人材を含めた人材の確保・育成に取り組む。また、CSRやCSV、DX・GX、異分野参入等により企業価値を高めることにより、県内企業の競争力向上・成長を促し、変化の時代を生き抜く力強い企業の創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 外国人材の定着促進のための交流イベント、企業内研修教材や方言マニュアル作成、相談・マッチング支援、建設産業の担い手確保、データ活用による地域課題解決事例創出、阿蘇地域の地下水保全認証制度検討、サステナブル技術研修と伴走支援、DX・GX推進による企業支援、半導体製造装置分野への参入支援、展示会での技術PR、誘致企業の人材確保・魅力発信事業を実施。					 ※「外国人材に選ばれる熊本」推進事業 イメージ図	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・「外国人材に選ばれる熊本」推進事業(外国人材雇用の手引きリニューアル) (委託費) 10,172千円 ・建設産業担い手確保・育成事業 (人材確保に向けた周知イベント等) (委託費等) 24,968千円 ・データ活用による地域課題解決事例創出 (委託費) 10,000千円 ・阿蘇地域の地下水保全の取組みの貢献度を示すための指標評価 (委託費) 27,058千円 ・企業と社会のサステナビリティを実現する人材育成事業 (セミナー等) (委託費等) 6,986千円 ・DX・CN化に関するニーズ収集 (委託費等) 18,563千円 ・サプライチェーンと半導体製造装置メーカー等とのビジネスマッチング等 (委託費) 9,994千円 ・中小企業半導体関連技術PR事業 (PRブース出展費等) (委託費) 9,035千円 ・企業誘致促進事業 (補助金等) 15,200千円 ＜施設整備・事業設備・備品経費＞ ・DX・CN化に必要な施設設備・事業設備・備品整備 (補助金) 30,000千円 ・企業誘致促進事業 (施設設備・事業設備・備品整備) (補助金) 5,000千円					 ※県内製造業参入促進支援事業 イメージ図	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品出荷額等 (+7,583億円) ②外国人材雇用事業所数 (+1,039社) ③データを活用して地域課題解決に取り組んだ企業・団体数 (+30社) ④阿蘇の水源涵養に着目した評価指標に基づく企業等からの寄付金額 (+4,500万円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kumamoto.jp/sos-hiki/18/258003.html

事業概要：稼げる農林水産業の実現プロジェクト

継続

申請者	熊本県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	480,446千円 (146,744千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少・生産基盤の弱体化による本県の農林水産業の競争力低下・県内需要の減少が懸念される中、労働生産性を高めるとともに、地下水に支えられた安心・安全な農林水産物について、首都圏等の消費力と多様な消費者ニーズをとらえたブランド化や加工品開発などの高付加価値化につなげるなど、生産から販売に至るまでの課題に対応した取組みにより、新たな付加価値を生み出し、稼げる農業の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 農林水産業の生産性向上と高付加価値化を図るため、スマート技術の導入・人材育成、デジタル技術の実証、企業とのマッチングを推進する。さらに、異業種連携によるコンソーシアムを組織し、ブランド化や施設整備を支援する。県産畜産物では新指標設定やPR強化、安定供給体制を構築する。加えて、PFAS分析や除去技術を開発し、安全性を付加価値として差別化を進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・デジタル技術等の活用による生産性向上 農業現場の実情に合わせた技術開発の推進（委託料等）3,623千円 ・高付加価値化に取り組むコンソーシアムの組織化・育成 コンソーシアムが取り組む施設整備・機械導入支援（補助金）61,296千円 ・県産ブランド畜産物の特長に応じた供給体制構築 くまもと黒毛和牛等の首都圏への生体出荷支援（補助金）13,290千円 ・農産物や加工品の安全・安心の確保 PFAS分析、有害物質吸着材開発及び実装支援（備品）11,677千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①稼げる農業経営体（販売金額1,000万円以上）の割合（+5.3%） ②スマート技術研修等参加者数（+100人） ③農業生産関連事業の年間販売金額（+105億円） ④くまもと黒毛和牛の東京食肉市場出荷頭数（+298頭）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kumamoto.jp/sos/hiki/18/258003.html

事業概要：地域の歴史・文化による魅力創出・周遊型観光地化プロジェクト

継続

申請者	熊本県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	223,960千円 (74,137千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・観光振興による地方創生を実現するため、インバウンドの誘客強化、歴史・文化等の固有資源の活用、地域で一体的に取り組むための体制の構築等を通して、周遊型観光地を形成し、収益力を高めて持続可能な観光地域となることを目指す。 ・さらに、交流人口の拡大に伴い身近な存在となった外国人との共生に向けて、地域における多文化理解を深めると共に、外国人に対しても地域に根差した文化を発信・理解してもらう取組みを進める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少や観光の地域偏在、インバウンド需要の変化といった課題に対応するため、観光を基幹産業として成長させる取組みを進める。韓国市場への誘客強化、富裕層クルーズの誘致、寄港地での体験型観光造成を推進するとともに、県内各地の歴史・文化資源の磨き上げや発信、伝統工芸の販路拡大、博物館の活用強化を図る。また、DMO体制の強化や多文化共生支援を通じ、地域全体で持続可能な観光地域づくりを実現することを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・観光レップを活用した誘客拡大事業（委託料）5,300千円 ・クルーズ船寄港効果向上事業（負担金）5,960千円 ・くまもと文化集積・発信事業（委託料）3,000千円 ・伝統的工芸品販売力強化等支援事業（委託料）9,624千円 ・「肥後藩絵図」デジタル化推進事業（委託料）9,505千円 ・DMO等の人材育成・体制構築（補助金）30,000千円 ・市町村多文化共生伴走型支援事業（委託料）7,000千円						
主なKPI	①観光消費額（+577.8億円） ②訪日韓国人延べ宿泊者数（+70,500人） ③富裕層向けクルーズ船の寄港数（+15件） ④デジタルアーカイブへのアクセス数（+6,400件）					URL	https://www.pref.kumamoto.jp/sos/hiki/18/258003.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：進出企業と畜産業の相乗効果による地域活力向上プロジェクト

新規

申請者	熊本県ほか 2 自治体					初回採択回	令和 8 年 1 月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,904,155千円 (75,850千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 地域の基幹産業である畜産業の生産基盤を維持・拡大するため、意欲ある畜産農家が希望をもって事業を継続、拡大し、更に農地減少や高齢化により減少する畜産農家を補完することで、地域の産業として畜産の維持、発展を目指す。 - 海外からの移住者も含め新たな住民が増加する中、新たな住民・企業、観光客が畜産に対する理解を深め、進出企業・住民と畜産業が共存・調和するとともに、畜産業のファンを増やし畜産物の消費拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・畜産農家の継続的な発展に向け畜産環境対策の技術開発、ソフトクリーム等の乳製品販売促進、畜産物の応援者を増やすための畜産への理解醸成活動を行う。 ・道の駅に隣接した交流施設に住民や観光客向けのイベントスペースを新設し、地元食材を使った乳製品や牛肉の販売、バーベキュースペースによる食事提供を行う。 ・半導体関連企業による減少した農地の確保、畜産環境対策に配慮した臭気の少ない牛舎構造への転換を図る。					 イベントでの畜産物販売	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・畜産環境対策の技術開発 1,500千円 ・住民への畜産業への理解醸成や畜産物の販売拡大 (委託料・補助金) 13,750千円 ○拠点整備事業 ・道の駅に併設したふれあいセンターでのイベントスペース整備 46,300千円 ○インフラ整備事業 ・飼料畑造成整備、畜舎・堆肥舎整備事業 14,300千円					 イベントスペース整備	
主なKPI	①菊池地域の畜産産出額（+3億円） ②菊池地域の畜産に起因する苦情数（▲22件） ③旭志ふれあいセンター（道の駅旭志）の年間売上客数（+14,000人） ④事業参加農家の飼養頭数の増加（+292頭）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kumamoto.jp/sos/hiki/18/258003.html
	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						

事業概要：災害を契機とした地域の魅力発信と地域産業の磨き上げプロジェクト

新規

申請者	熊本県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	436,480千円 (141,798千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域資源を磨き上げ、地域の魅力を国内外へ効果的に発信し、観光客や交流人口を増やす。 ・観光・文化・産業の基盤を強化し、地場産業の活力創出につなげ、災害に強く持続可能な地域づくりを進める。 ・地域の人々が産業・文化・伝統に誇りを持ち、生活の豊かさや心の充実を実感できる地域社会を形成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域資源を活かした誘客と地域活性化を目的に、文化芸術資源の磨き上げや文化的景観整備を進め、新たな観光コンテンツを創出する。加えて、熊本地震や豪雨災害からの復興を、球磨川リバーミュージアム構想や国際サイクルロードレース、特産品PRなどと連動させ、広域的な周遊促進と国内外への発信を強化する。さらに、学校や大学と連携し、子どもガイド育成や研究者支援、文化的景観の担い手研修を行い、地域資源を未来へ継承する人材育成にも取り組む。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新たな文化芸術コンテンツ創出と情報発信（委託料）9,745千円 ・復興や地域観光資源等をPRするイベントの開催（委託料）22,000千円 ・球磨川流域の周遊化に向けたPR活動の実施（委託料等）9,600千円 ・地域資源の文化的価値発信（委託料）23,000千円 ・多様な地域資源を活かした教育旅行プログラム造成（負担金）8,500千円 ・製造を中止したいぐさ専用機械の再生産等計画策定（委託料）5,600千円						
主なKPI	①熊本県内の観光消費額（+210億円） ②熊本県内の観光入込客数（+174万人） ③再生産・維持計画を策定したいぐさ・畳表の専用機械数（+5種）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kumamoto.jp/sos-hiki/18/258003.html

事業概要：熊本発の技術・ビジネスの創出（強い地域経済の実現）プロジェクト

新規

申請者	熊本県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	280,063千円 (97,543千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域活力の維持・発展の原動力となる地域の力強い経済活動、それを牽引する産業の成長、次代につながるシーズの創出、シーズを着実にビジネスへと結び付け、熊本の魅力を国内外に発信することで、熊本県が企業と人から魅力的な産業創出拠点として選ばれ、労働力不足や消費の縮小に歯止めをかけ、企業の活性化、ひいては地域の力強い経済を実現していく。 ・企業を活性化し、熊本県が企業と人から魅力的な産業創出拠点として選ばれる地域となるために、産学連携体制の整備、地域課題を解決する人材育成、ビジネスがしやすい環境整備等を産学官等連携により推進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・企業ニーズを中心に捉えた産学連携体制を整備し、その定着を図る。 ・半導体関連産業やDX推進に係る人材、地域課題を解決する人材等、高度・即戦力人材の育成・確保を図る。 ・半導体関連産業やスタートアップ企業等の起業・開業に伴う各種申請に関する相談や支援をワンストップで総合的に行う仕組みの構築や交通渋滞の解消等、ビジネスがしやすい環境を整備する。 ・国内外から選ばれるために、本県の魅力を広く発信できる地域の拠点を検討し、県内における「強い経済」の形成につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・県内大学における産学連携体制整備【20,000千円】（委託費） ・開業ワンストップセンター運営経費【4,204千円】（委託費） ・公共交通への転換に資する取組への補助【10,000千円】（補助上限5,000千円 補助率1/2 採択件数2件） 他						
主なKPI	①本プロジェクトにより産学官連携・支援した企業の売上高（+32億円） ②本プロジェクトによって育成した人材数（+594人） ③事業において創出した産学官連携等の数（+4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.kumamoto.jp/sos/hiki/18/258003.html

事業概要：創業支援と地場企業の強化によるくまもと創生プロジェクト

継続

申請者	熊本県熊本市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	598,279千円 (139,294千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	創業や起業支援による新たな産業の創出や企業の技術革新の支援により地域に活力を生み出す 質の高い多様な雇用の場を創出することによって若者の転出を抑制し、若者が活躍するまちを実現する						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市域内スタートアップへの伴走支援とビジネス支援施設を拠点とした創業環境整備により熊本版エコシステムを構築し、併せて中小企業の技術革新支援、スマートシティ推進、デジタル人材育成等を通じ、イノベーション創出と質の高い雇用拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○・創業支援 ・市域内のスタートアップ等に対し、伴走型支援プログラム等の成長段階に応じた様々な支援を実施するとともに、成功事例の創出や関係者の巻き込み等を行い、市域内で起業家が絶え間なく生まれる仕組みを構築（委託料ほか）61,894千円 ・起業の普及啓発や創業機運の醸成を図り、起業家の裾野を拡大（負担金、事業費補助金）11,500千円 ・「くまもと森都心プラザビジネス支援施設」を本市における創業支援の中心として位置づけ、スモールビジネスからスタートアップ等まで幅広い支援を求める創業者が集い、繋がる場を創出（委託料）10,000千円 ・技術革新等の支援 ・地場中小企業等の高付加価値化に繋げることを目的とし、産学官連携の強化や、新製品・新技術の研究開発等の支援を実施（事業費補助金ほか）26,650千円 ・デジタル化などの新技術への対応や導入支援を行うことができる人材の育成を行うため、セミナー開催やデジタル技術の活用に向けた伴走支援を実施（委託料ほか）24,000千円 ・SDGsの普及啓発 市民、企業等向けのSDGs関連イベントの開催やプラットフォーム運営等（委託料）5,250千円						
主なKPI	①くまもと森都心プラザビジネス支援施設を契機とした創業者数（+18人） ②支援事業を通じたスタートアップ等による資金調達件数（+60件） ③支援事業を通じた製品化・事業化件数（+14件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	熊本市総合計画審議会について https://www.city.kumamoto.jp/kiji00365832/index.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：花とみどりの魅力ある「森の都」再生プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	317,400千円 (48,933千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	緑を感じる都市空間の形成や更なる賑わい創出、市民一人ひとりの緑化活動の向上等を図り、魅力ある「森の都くまもと」ブランドの再生を実現することで、花や緑を通した中心市街地の活性化と回遊性の向上による交流人口の拡大や、地域の魅力や特性を生かしたまちづくりを推進し、ひいては将来的な移住・定住の促進に繋げる。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 第38回全国都市緑化くまもとフェア実行委員会の組織母体を前提としくまもと花博実行委員会を設立し、熊本市内を中心に県内の花や緑を活用し、関連する観光情報を発信する土台を形成し、花のまちづくりの推進、さらに、熊本の魅力や地域資源を広くPRし知名度の向上を図る。	 中心市街地の活性化 回遊性の向上による交流 人口の拡大 地域の魅力や特性を 生かした まちづくりの推進 将来的な移住・定住の促進	
	【R8年度事業 経費内訳】 花や緑を活用し、潤いと癒し、緑の豊かさを創出し魅力ある「森の都」を演出する。また、併せて、緑化の取組の紹介など広報活動も積極的に行い、市民の緑化意識を継続的に維持・高揚させていく ・都市空間緑化創出事業（委託料）41,433千円 身近にある花や緑を知って学び、遊んで親しむ体験を通して、自然（資源）の在り方や利活用を考え、身近にある自然との新たな向き合い方を発見する事業を実施する。 ・花や緑の体験に関する事業（委託料）3,000千円 市民（ボランティア等）協働の修景花壇設置や、緑に関する講習会等の参加機会を提供することで、緑の大切さや緑化に関する知識の普及、既存ステークホルダーの意欲向上や、森の都を築く新たな担い手の育成を図る。 ・ステークホルダー育成事業（委託料）4,500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①中心市街地における1日当り本イベント最大総参加人数／休日 （ボランティア・市民団体キャスト含む）（+44,765人） ②花と緑に関連する熊本市全体のボランティア団体数や市民団体数（+25団体） ③中心市街地における緑視率の割合（+7.15%） ④スポンサー花壇における協賛企業数（+10社）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL 熊本市総合計画審議会について https://www.city.kumamoto.jp/kiji00365832/index.html

事業概要：国内外からの観光客誘客促進事業

旧制度（推進）

申請者	熊本県熊本市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	245,000千円 (80,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・観光需要が回復する好機を捉え、熊本城でのナイトタイムエコノミーや受入環境整備、SNS発信など多面的な施策を進め、国内外からの観光客の誘客を促進し、観光産業の活性化を図ることで、地域経済の更なる発展及び雇用の確保を目指す。 ・熊本城でのナイトタイムコンテンツの実施は、中心商店街等と連携し実施することで、回遊性の向上や中心市街地の賑わい創出等にも寄与する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①夜の魅力を活用した企画の実施とプロモーション ②Wi-Fi環境の提供・食の多様性対応についての対応商品のメニュー化、情報発信・地域通訳案内士の育成・フォローアップ研修 ③各SNS・WEB広告等を活用したプロモーション ④海外プロモーション（認知獲得、誘客・情報発信、フォロワー獲得） ⑤観光マーケットリサーチとリサーチ結果を踏まえた新たな施策の検討及び収集したデータの宿泊事業者等への共有の継続		
	【R8年度事業 経費内訳】 【ソフト事業経費】 ○ナイトタイムエコノミー企画推進事業 ・熊本城等の夜の魅力を活かした企画を実施（委託料）42,500千円 ○観光客受入環境整備経費 ・食の多様性に関するセミナー・商品開発支援（委託料）4,000千円ほか 【ハード事業経費】 ○観光案内サインの改修計画に基づく整備等（委託料）7,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（億円/年）（+300億円） ②市内宿泊者数（人/年）（+510,000人） ③旅行者の満足度（%）（+6%） ④ナイトタイムコンテンツの作成数（回/年）（+4回）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL 熊本市総合計画審議会について https://www.city.kumamoto.jp/kiji00365832/index.html

申請者	熊本県熊本市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,641,000千円 (652,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	美しい景観と豊かな自然環境を有する江津湖に隣接した立地環境について、動植物の展示や環境教育等において未だ十分な活用が図られていないという課題を解決し、自然環境と調和のとれた快適で魅力的な動植物園を目指す。あわせて、国内外の旅行者のニーズに対応し、来園者が快適に利用できる、魅力ある空間づくりに取り組むことで、観光資源としての熊本市動植物園の魅力向上を図る。これにより、県内外・国内外の人を呼び込み、地域経済の活性化とにぎわいの創出につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在の草食獣舎（シフゾウ舎～ニホンジカ舎）およびキリン舎のあるエリアについて、「アフリカの雄大な大地」を展示テーマに「サバンナエリア（開園100周年記念エリア）」として大規模なリニューアルを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○建築物整備経費 キリン舎の整備等 ・施設整備 299,920千円 キリン舎建築工事、ライオン舎ほか建築工事（杭工事）を行う ○設備整備・用地造成等経費 ・用地造成 352,080千円 混合放飼場の整備を行う						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（暦年）（+450億円） ②熊本市に来訪した旅行者の満足度（+15%） ③開園100周年に向けて目指す来園者数（+72,000件） ④「熊本市動植物園100周年記念サポーター」制度の寄附件数（+384件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	熊本市総合計画審議会について https://www.city.kumamoto.jp/kij-i00365832/index.html

事業概要：富合地区における地域生活拠点形成事業

継続

申請者	熊本県熊本市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	414,000千円 (159,500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本市では、コンパクトで持続可能な都市づくりを進めるため、「第2次熊本市都市マスタープラン」において、都市機能集積並びに維持・確保を図る中心市街地と15箇所の地域拠点を利便性の高い公共交通で結ぶことにより、持続可能でだれもが移動しやすく暮らしやすい“多核連携都市”を都市構造の将来像としている。富合地区は、平成20年に合併した旧富合町の中心地区で、この地域拠点の1つに位置付けられており、中心部に南区役所が立地し、南区全体の総合的な行政、コミュニティの中心としての役割が求められているが、住宅地の形成や商業施設などの良好な住環境整備が課題である。令和4年5月に土地区画整理事業組合が設立されたことを受け、官民連携して公共施設及び良好な宅地の整備といった都市基盤整備に向け大きく動き出したところである。本地区におけるまちづくりの機運が急速に高まっており、この機を逃すことなく、良好な住環境や、コミュニティを維持・向上させる地域拠点形成に取り組む必要がある。市民が住み続けたい、誰もが住んでみたくなる「上質な生活都市」を目指し、良好な住環境と日常生活サービス機能が充足した、本市の南のエントランスとしてふさわしい魅力的で持続可能な地域拠点を形成する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 商業施設に隣接する公園を核とした交流・にぎわいの創出主体の形成及び公園の施設整備を行うとともに、区画整理事業と合わせて都市計画道路の整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 公園施設の検討、自立可能な運営手法等に関する地域住民との勉強会、ワークショップ、外部講師の招へい等の実施。2,500千円 ○インフラ整備事業経費 地域の軸となる拠点内へのアクセスを向上させるための道路整備事業 ・用地購入費 13,100千円 ・工事請負費 62,000千円 区画整理事業促進による組合への補助金交付 ・用地取得・用地補償81,900千円						
主なKPI	①地区内における人口（+800人） ②地区内における地価変動率（+2.5%） ③地区内における公共施設の充足面積（+16,369㎡） ④公園の管理・運営に関わる取組み数（+12件数） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	熊本市総合計画審議会について https://www.city.kumamoto.jp/kiji00365832/index.html

事業概要：熊本駅周辺地区における拠点性向上事業

新規

申請者	熊本県熊本市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,153,000千円 (500,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 九州地方の中心的役割を果たす陸の玄関口としての役割を担う熊本駅周辺地区において、TSMCをはじめとする地域を超えるビジネス展開を図る産業の更なる発展を支えるとともに、地区の個性や魅力を活かし、多くの人々をひきつける空間づくりによるさらなる交流人口の増加を図り、持続可能な強い経済の実現を目指す。 - 熊本駅新幹線口駅前広場の交通機能と空間構成を再編することで利便性・安全性を向上させ、さらなる交流人口の増加や民間投資、地域産業の発展等への波及効果がうまれる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、熊本駅新幹線口駅前広場を中心に、インフラ整備・拠点整備・ソフト事業を一体的に推進し、JR九州との連携のもと公共空間の利便性と魅力を高め、地域経済への波及効果の創出を図るものである。インフラ整備では交通機能と空間配置を見直し、安全で快適な移動環境を確保する。拠点整備事業では、おもてやん広場等に滞在・交流を促す施設を整備し、公共空間の活用を推進する。ソフト事業では、公共空間の利活用を調整し地域資源を生かすエリアマネジメント団体を設立し、トライアル事業等を通じて自走化を図る。TSMCをはじめ広域的なビジネス展開を支える基盤として、来訪・滞在や投資の呼び込みを後押しし、地域内の消費拡大と経済の活性化につながる基盤を形成する。					熊本駅新幹線口駅前広場整備後イメージ図   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・駅前広場整備（道路整備）事業 500,000千円						
主なKPI	※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ①熊本駅周辺関係人口（活動関与者数）（+24人） ②熊本駅周辺歩行者通行量（+3,400人） ③熊本駅乗車人員（+7,450人） ④熊本駅周辺地区の地価変動率（+6.4%） ⑤公共空間等を活用した取組み数（+12件数） ⑥熊本駅周辺経済波及効果額（+6,950,000千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年10月公表予定

事業概要：アジア圏への八代産品輸出促進事業

旧制度（推進）

申請者	熊本県八代市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	64,768千円 (22,492千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	近年、海外市場では安心・安全な日本の農林水産物の魅力が広がり、日本の輸出額は年々増加している。 このため、豊富な農林水産物等を有する本市においては、国内外での販路開拓に実績のある専門人材を活用して、輸出に取り組む市内事業者への助言・支援をおこない、新商品の開発や既存商品の改良等をマーケットインの考えのもと実施するとともに、販路開拓・商談機会の創出等、幅広く事業を展開することで、本市農林水産物等の海外販路を拡大し、地域食関連産業並びに地域の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・専門人材を登用し、輸出に向けた市内事業者への助言等を実施。 ・台湾・香港において、八代産品の認知度及びブランド力向上のため、商談会を実施。また、輸出に取り組む市内事業者向け支援を実施。 ・シンガポールにおける八代フェアと商談会の実施。外国人旅行者等に対する八代産品のPRと販売促進。 ・ターゲットとする市場に受け入れられる商品の開発や改良に向けたコミット型の講座開催と伴走型支援の実施。		
	【R8年度事業 経費内訳】 1. 輸出促進人材派遣事業（委託料）4,178千円 2. アジア圏域輸出促進事業（委託料、補助金）3,650千円 3. 新市場開拓事業（委託料、旅費）10,716千円 4. 新商品開発・改良事業（委託料、補助金）3,448千円 5. 新商品開発・改良事業（設備投資補助）（補助金）500千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①農林水産出荷額（+17百万円） ②輸出額（+1,753万円） ③輸出品目数（+7品） ④輸出商談件数（+29件）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.yatsushiro.lg.jp/kiji0032847/index.html

繼續

申請者	熊本県人吉市					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	363,000千円 (125,000千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	民間企業のノウハウや資金を活用して、地域産業の振興や新規ビジネスの創出を図り、地元企業との連携による雇用創出や起業支援を通じて地域経済の活性化が起きる仕組みづくりを行う。 地域の自然資源、歴史的遺産、文化、伝統産業、鉄道遺産などを活用して、観光振興や地域ブランドの確立を目指し、商品開発やイベントの企画が進むことになる機運を醸成する。 地域に新しい人の流れを作り出すことで、経済的な活性化だけでなく、文化や情報の交流を促進し、観光客の誘致はもちろん、移住者や定住者、地域外からの通勤・通学者など、様々な人々が集う地域をつくる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・民間、行政、専門人材の連携調整のサポートを行う。地区内のまちづくり事業の有機的連携・調整を図り、トータルコーディネートを行うことで統一されたまちづくりを行いエリア価値を高める。 ・地区内の低未利用地、都市公園、河川沿い等の公共空間について、その効果や課題などを明らかにする社会実験を実施しながら、プロジェクトの事業性や地域コンセンサスを検証し、稼ぐ事業を埋め込む。					《2》拠点エリア 《2》中川原公園・大橋 高4層 公園施設・観光まちづくりの拠点施設 中川原公園は河川の畔として、公園や憩い整備とあわせて市街地を形成、開発可能な空間を行い、市民の憩いの場として駅周辺を内包する水辺空間を創出します。公園と駅舎へ設置するデジタルアート・緑豊かな景観を、公園の周辺部などを含めて広域を有するゾーニング・施策はまちづくりの基盤となります。また、施設や周辺を整えるための建築や舗装なども、より利便性を高める環境をつくり出します。 大橋については通車・イベント場にも活用可能なことで、中川原公園と一体に活用できるとともに、周辺との連携をより強めます。 【中川原公園・大橋のイメージ】		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・公民連携体制構築及びプロジェクトマネジメント支援事業 ・体制構築、全体マネジメントに係る支援（委託料）：29,100千円 ・エリア全体のデザイン監修及び整備方針支援事業 ・夜間照明デザイン（委託料）：3,200千円 ・交通・モビリティデザイン（委託料）：4,500千円 ・まちづくりプロジェクト発信（委託料）：7,500千円 ・建築デザイン及びサインデザイン等支援（委託料）：4,400千円等 ・拠点等の整備方針検討及び実証事業 ・社会実験の実施、空間整備に向けた検証、運営体制づくり及び民間事業者候補者サウンディング等（委託）：60,000千円等							
主なKPI	①新規創業者数（+3人） ②事業承継件数（+3件） ③年間宿泊客数（+71,485人） ④公民連携事業数（+2件）					URL	※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/toppage/fukko_suishin/2433783	
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値								

事業概要：荒尾市ウェルネス拠点施設を中心とした地域経済活性化プロジェクト

旧制度（拠点）

申請者	熊本県荒尾市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	624,451千円 (31,687千円)
事業タイプ・類型	地方創生拠点整備タイプ	事業分野	農林水産分野
目的・効果	荒尾競馬場跡地に、多くの人やモノを呼び込み地域に活気をもたらす拠点として、物販や飲食における地場製品の販売等を通じた生産者等の所得向上、及び地産地消の促進による地域内経済の循環を推進する。また、複合施設として整備する、保健・福祉・子育て支援施設Mirairo（みらいろ）と連携した健康増進や子育て支援、高規格道路の発着点という立地を活用した広域防災拠点機能、地区内に立地する周辺施設との連携等、新たな価値を創造する。※PFI活用		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 道の駅において、本市の優れた地域資源を来訪者に購入してもらい、生産者の所得向上を図ることで、働き甲斐が見出され、生産意欲の向上による経営耕地面積の拡大や今後も働きたいと考える高齢者を増加させるとともに若者を中心とした新たな担い手の発掘と育成につなげる。また、さらなる所得向上や支出の抑制につなげるため、スマート農水産業の推進や生産者同士の情報交換の場を設け、生産効率の向上や省力化のための取組を促す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 開業準備 31,687千円 ・什器準備 25,300千円 ・開業準備業務・備品準備 6,387千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①物販施設における年間売上（+496,284千円） ②物販施設におけるレジ通過者数（+526,136人） ③物販施設への出荷者数（実人数）（+200人） ④当該施設の整備を機に新規に就農漁業や起業をする者の数（+11人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.arao.lg.jp/shisei/shisaku/sogo-keikaku/page4791.html

事業概要：先進技術とデジタルを活用しEBPMによる疾病予防・健康行動促進・地域医療の質向上・
効率的な見守りを促す誰もが安心して長生きできるウェルネススマートタウン事業

旧制度（推進）

申請者	熊本県荒尾市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	396,865千円 (126,749千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	デジタル技術や先進技術を活用したサービスを本市の保健事業に落とし込み、保健事業の利便性向上・成果の定量化と分析・行政事務の効率化等を実現することで、住み良いまちを実現し、移住・定住者増を目指す。 少子高齢化の影響で逼迫する市財政の改善にインパクトを与えるために、保健事業の一部を成果報酬型委託事業への置換えを目指し、医療費適正化の費用対効果が見える自立可能な事業モデルを検討・設計完了する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 大きく分けて「①疾病発症リスクが高いハイリスク者へのアプローチによる疾病予防・健康づくり」、「②リスクが高くない・無関心層を含む全市民に対するポピュレーションアプローチによる疾病予防・健康づくり」、「③蓄積したパーソナルヘルスケアデータに基づく施策成果の見える化と改善サイクルの確立」の3つの取組を実施している。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ハイリスクアプローチによるリスク者の低減（委託料）73,018千円 ・デジタルを活用した保健サービスの質向上（委託料）12,589千円 ・ポピュレーションアプローチによる地域全体への健康行動促進（委託料）6,520千円 ・蓄積したパーソナルヘルスケアデータに基づく施策成果の見える化と改善サイクルの確立（委託料）34,622千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン者数（あらお海陽スマートタウンへの移住者数） （+180人） ②平均自立期間（日常生活動作が自立している期間の平均）（+0.3年） ③健康行動を継続的に実行している市民の割合（+6%） ④毎年、健康診断や人間ドックを受診している市民の割合（+3%）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (実施体制) https://www.city.arao.lg.jp/shisei/machi-zukuri/smart-city/7402.html (交付金の具体的使途) https://www.city.arao.lg.jp/shisei/machi-zukuri/smart-city/6301.html (交付金の具体的使途) https://www.city.arao.lg.jp/shisei/machi-zukuri/smart-city/5484.html (効果検証) https://www.city.arao.lg.jp/shisei/shisaku/sogo-keikaku/page4791.html

事業概要：自治体オリジナルメディアにおける地域ブランド創出事業

旧制度（推進）

申請者	熊本県荒尾市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,750千円 (7,750千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	市独自のオンライン放送局を整備し、他媒体に依存しない持続的な市内の情報発信、市内事業者や市内高校と連携して子育て世帯や若年層にむけたイベント等を実施することで、「市に対する愛着」を醸成し、市外への転出抑制やUターンの促進を図る 若者が気軽に出会える機会の創出を通じた結婚希望の実現を図る 市の認知度向上、ブランド力促進を通じて県内有数の認知度獲得を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市公式メディアの整備と強化を行い、エンタメ性のあるコンテンツ発信により若年層の認知度向上と愛着醸成を図ると共に、子育てや移住施策の情報発信の効率化を目指す。また、オンライン・オフラインイベントの開催をととして、若者の交流機会を創出すると共に、イベントへの関わりを契機とした、本メディア事業への協力者や市内の活性化に意欲的な若年世代による独自コミュニティの形成を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・コンテンツ強化（委託料）3,300千円 市民のタレント性発掘など、フォロワーとの関係性深化を図る番組作成を行う。 ・オフライン・オンライン参加企画の継続と自立運営に向けた事業（委託料）3,450千円 若者や市内事業者等と連携したイベントを企画すると共に、自立運営に向けたスポンサー募集を行う。 ・コミュニティ構築・オンライン拠点整備・フォロワー獲得認知拡大（委託料）1,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①総人口の減少値（+150人） ②20代の転入出者数の減少値（+30人） ③事業を通じた関係人口数(イベント参加者・イベント協力者数)(+1,700人) ④コンテンツリーチ数（+750,000人）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.arao.lg.jp/shisei/shisaku/sogo-keikaku/page4791.html

事業概要：スマートカキ養殖の実装による荒尾市水産業活性化事業

継続

申請者	熊本県荒尾市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	37,455千円 (11,385千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・スマートカキ養殖支援アプリの導入により、養殖作業の一元管理することを可能にする。遠隔指導による養殖支援を行い、スマート養殖手法の定着及び漁協の自走化につなげる。 ・漁場にスマート機器を設置し、海水温や溶存酸素等海況データを取得。学術機関によるデータ分析のほか、アプリでの作業状況管理と連動させ、養殖技術及びカキの品質向上を図る。また、高海水温化など海洋環境の変化に対応した養殖手法を確立する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①カキ養殖支援アプリで作業記録（在庫状況）を管理、全体共有他産地で養殖実績がある(株)リブルがアプリ情報を基に、適切な作業タイミングを遠隔でアドバイス。アプリの活用については月1、2回現地指導。 ②海洋センサーで海況データの取得、大学によるデータ分析 分析したデータを基にリブルから漁協に的確な技術指導						
	【R8年度事業 経費内訳】 スマートカキ養殖導入実装事業 ・人件費謝金（漁場整備費、養殖支援員派遣、データ分析、指導等）6,820千円 ・研究協力費、通信費、アプリ経費、一般管理費 2,376千円 他						
主なKPI	①荒尾市農林水産業総算出額（+30,000千円） ②カキ養殖業の売上（+5,280千円） ③荒尾漁協のカキ養殖新規漁業者数（+3人） ④水産業に係る地域内学習等への参加者の延べ人数（+90人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.arao.lg.jp/shisei/s_hisaku/sogo-keikaku/page4791.html

事業概要：山鹿市ふるさと未来創造事業

旧制度（推進）

申請者	熊本県山鹿市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	59,100千円 (9,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	大会や合宿などのスポーツコンベンション活動を積極的に展開し観光関連事業者・実業団チームとの連携による本市ならではのスポーツビジネスの創出を図ることで、交流人口の拡大による経済波及効果を高めていく。 デジタル技術を活用したこれまでにない新たな取組や“ひと”にフォーカスした取組を通じて、多くの関係者との連携を強化し、まちの賑わいづくりの中心となる人材の発掘や育成を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 関係団体と連携し、これまで磨き上げてきた事業成果を反映させながら国内外へのプロモーションを実施する。また、小学校の総合学習に取り入れたプログラミング学習を継続して実施し、ICT人材の育成を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○にぎわい再創出事業（委託料）7,100千円 （1）観光誘致対策事業（コンベンション宿泊助成） （2）来訪者を呼び込むための仕組みづくり ○ふるさと未来創造事業（委託料）1,900千円 （1）ICT人材の育成		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+493千人） ②観光宿泊者数（+159千人） ③観光消費額（+29億69百万円） ④まちゼミ参加店舗数（+12件）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/kiji0031681/index.html

事業概要： 健幸のまちづくり推進事業

新規

申請者	熊本県山鹿市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	18,896千円 (6,946千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ウォーキング等健康づくりの動機づけと温泉入浴の推進により健康意識が高まり、観光消費が促進される。 ・健康と観光を結び付けた滞在型観光戦略により観光客の増加で観光消費が促進し、にぎわい創出と地域の活性化が促進され、地場産業の振興に大きく寄与する。 ・民間事業者主体で住民参加型の観光事業が拡大することで、担い手不足など地域課題の解決と雇用の創出が促進される。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 山鹿市の観光資源である温泉を関連付けたウォーキング大会やフットパススタンプラリー等の開催を通じて市民の健康意識を高め運動習慣の動機づけと温泉の入浴効果の再認識により温泉利用と観光消費を促進する。魅力ある滞在型コンテンツを数多く造成し「温泉」を核とした滞在型観光戦略により、観光消費額を増加させる。さらに、滞在型観光戦略の実施主体を温泉観光協会を中心とした観光事業者など地域主体へ移行し、個々の取り組みから一体的な取り組みへの移行により担い手不足など構造的課題を解決し「雇用とにぎわい」を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・温泉滞在型旅行商品の開発 (委託料) 4,975千円 温泉施設をはじめ観光事業者を対象にワークショップを開催し滞在型コンテンツを造成。造成後モニターツアーを実施し内容を検証。 ・自立化にむけた組織体制づくり (委託料) 1,971千円 山鹿・平山の各温泉観光協会が中心となった地域主導の持続可能な体制を目標として、事業継続に必要な人材等を検討する。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（山鹿市宿泊客）（+75,000千円） ②滞在型観光プラン造成数（+9個） ③入込客数（山鹿市日帰り）（+120千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.yamaga.kumamoto.jp/kiji0031681/index.html

申請者	熊本県菊池市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	333,284千円 (125,056千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	旅館等が抱える構造的課題等を解決することにより、菊池温泉街の再生及び魅力向上を図る。 観光DMOによる戦略的なプロモーションを行うことで、インバウンドも含めたターゲット層の観光客増加につなげる。 域内回遊性の向上や滞在時間延伸による観光消費額の増加により、地域一体となった稼げる観光地を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 温泉街のリブランディングに向けて、宿泊施設の経営改善・事業承継、改修促進を図るとともに、グルメ開発による面的プロモーション、景観デザインの指針となるデザインノートの策定、その指針に基づくサイン計画を策定し、温泉街の景観づくりを具体化する。また、稼ぐ観光地づくりのための観光DMOの本格稼働に伴い、データを活用した効率的かつ効果的な観光地経営と、戦略的なプロモーションによる地域一体となった観光客の誘客を図る。					目指す温泉街イメージ図（菊池温泉街リブランディング基本構想より）	
	【R8年度事業 経費内訳】						
	○ソフト事業 ・菊池温泉街リブランディング事業（委託料） 28,629千円 ・観光DMOの設立と観光マネジメント体制の構築 23,670千円 ・台湾を中心としたインバウンド誘客強化（委託料） 7,000千円 ・菊池渓谷の地域資源を活かした滞在型観光コンテンツの開発（委託料・広告宣伝費） 3,300千円 ・交通アクセス整備実証事業（委託料） 12,457千円 ・宿泊施設等高付加価値化促進事業（補助金）50,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額単価（+636円） ②観光入込客数（+867,360人） ③宿泊者数（+24,867人）④外国人宿泊客数（+17,625人） ⑤観光客満足度（+10%）⑥観光体験コンテンツの売上(+240,000円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kikuchi.lg.jp/article/view/1067/16195.html

事業概要：菊池市まちなかデザインによるウォーカブルシティ推進と新たなまちづくり事業

新規

申請者	熊本県菊池市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	247,164千円 (42,089千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・拠点施設の整備を行うことで、その中で行うチャレンジショップの展開からの新規出店、イベント開催による地域の飲食店や小売店へのイベント出店やイベント参加者のついで消費による経済波及効果の創出に取り組む。 ・拠点整備やその拠点近辺の設備整備等を行い、滞在時間の延長やイベント実施の促進による関係人口の増加を目指す。 ・新たな拠点を皮切りに新規店舗の出店を促し、地域経済の拡大を目指す。 ・イベントの増加や景観整備の推進がウォーカブルの推進へとつながることにより、関係人口の拡大と地域消費増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 当該事業は、関係人口増加に寄与するため、地域経済への寄与を想定したチャレンジショップを行える機能をはじめ、多くの方の滞留空間となるカフェ機能、イベントを実施するためのスペースや機能等を有する拠点整備を行う。また、訪れたい場所とすべく既存資源の磨き上げとなる能場の整備や景観整備に係る調査も併せて行う。さらに、イベント実施の促進を目的とした補助金の交付、空き店舗の活用につながる新規出店に係る補助金の交付等も行う。					目指すイメージ図（菊池市まちなかウォーカブルシティ基本構想より） 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・チャレンジショップを活用した人をはじめ、当該地域で新たに店舗を構えたい事業者に対し、店舗建設費や改修等の経費を補助（補助金）9,300千円 ・能場やわいふ一番館を中心としたイベントを開催してもらうため、地域団体等に対し、イベント実施に係る需用費や役務費、使用料等などの経費を補助（補助金）4,000千円 ○拠点整備事業 ・建設実施設計（改築） 13,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①当該地域への関係人口数（+4,789人） ②新規店舗の出店数（+9店） ③対象区域イベント参加者満足度（+85%） ④観光消費額単価（日帰り）（+1,704円） ⑤回遊拠点数（+8箇所）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.kikuchi.lg.jp/article/view/1067/16195.html

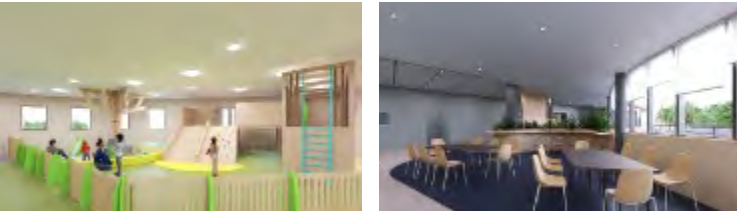
事業概要：宇土走潟地区かわまちづくり事業

継続

申請者	熊本県宇土市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,000,675千円 (25,500千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・旧河道の親水護岸整備による水辺に親しむ環境の形成や高水敷での広場、アーチェリー場の整備により、交流拠点を創生して、賑わい創出と地域の魅力向上を目指す。 ・地域におけるこどもたちの居場所や遊ぶ場を充実することで、笑顔で子育てができる住み心地のよい環境が整い、交流人口や関係人口の増加、更には移住定住につながるような好循環を生み出すことを目指す。 ・誰もが安心・安全で快適に暮らせる持続可能なまちの実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、整備面積43,599㎡の広いエリアの中で、グラウンドゴルフ場、多目的広場、高台広場、アーチェリー場、旧河道の水辺を眺められるサイクリングロード、親水護岸など多様な形態の利活用ができる、こどもたちの遊び場や人が集う賑わいの拠点施設を整備するもの。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 2025年から4箇年かけて（仮称）走潟親水運動広場の整備を行う。 2年目は、上水道布設工事を行う。 上水道布設工事 25,500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①宇土市の人口（▲196人） ②(仮称) 走潟親水運動広場で開催されたスポーツ大会又はイベントの回数（+10回） ③(仮称) 走潟親水運動広場で実施された水辺での学習体験活動の回数（+5回） ④アーチェリー場使用料（+260千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.uto.lg.jp/article/view/1138/14029.html

事業概要：市民みんなが健康で楽しく生涯活躍するまちづくりを目指す
「スポーツ応援＆子育て応援」多目的市民交流施設整備事業

継続

申請者	熊本県宇土市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,570,231千円 (677,578千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、「多目的市民交流施設」を整備することで、各種スポーツ大会に出場する市内外の人やその家族、また、イベントに参加する人の交流が促進され、同時にスポーツ弱者の運動環境を改善でき、あらゆる世代の市民がスポーツを通じて生涯活躍できる機会を創出することができる。さらに、多目的市民交流施設が宇土市の新しいシンボルとして、市外からの来訪者にも「宇土市の魅力をアピールできるような施設」となり、併せて、子どもたちや子育て世代の家族を地域の多様な主体の連携により、「市民みんなで子どもたちを支える施設」「あらゆる世代が交流できる施設」として機能することで、あらゆる世代から、定住地として選ばれるまちづくりが実現できる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存の民間施設をリノベーションし、幅広い世代が交流・学び・運動できる多目的市民交流施設を整備する。図書館、学習室、多世代交流スペース、子育て交流スペース、遊戯室、授乳室、軽食販売コーナー、会議室、シャワー設備等を備え、令和9年度末に供用開始予定。周辺のジョギングコースとも一体的に整備し、市民の交流拠点をを目指す。					【イメージ：子育て交流スペース】【イメージ：多世代交流スペース】 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・ジョギングコース整備 約1,200mの遊歩道にウレタン舗装、照明設備を設置し、ジョギングコースを整備する。 82,363千円 ・多目的市民交流施設整備 約1,200㎡の現在利用していない施設に約1,300㎡を増築（一部解体）し多目的市民交流施設を整備する。 582,294千円 ・立体駐車場改修工事 立体駐車場を一部解体し、不良箇所のみ取り換え・補修などの改修を行う。 12,921千円 合計677,578千円					【イメージ：多目的市民交流施設外観】 	
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の社会増減数（+60人） ②西部地区中学校の部活動（クラブ活動）加入率（+35%） ③多目的市民交流施設の利用者数（+8,500人） ④企業協賛金の寄付件数（+50件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	【交付金の具体的使途・実施体制・効果検証・改善方策への反映】 https://www.city.uto.lg.jp/article/view/1138/14029.html

事業概要：女性・若者キャリアアップ支援事業

新規

申請者	熊本県宇城市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	111,768千円 (57,092千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・若者や女性が地域に住み続けながら学び、安定した就労につながる環境を整備し、人口流出の抑制と人材定着を図る。 ・デジタルスキル等の習得を支援することで、多様で柔軟な働き方を可能とし、地域内に新たな就労機会を創出する。 ・リモートワークや企業連携を通じて、地域にしながら全国規模の仕事に関われる仕組みを構築し、定住促進を図る。 ・所得向上と人材の循環を通じて、地域産業の付加価値を高め、地域経済の持続的な好循環を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者や女性の人口流出が進む本市において、特に20歳～39歳の女性が地域に住み続けながら安定した就労を実現できる環境を整備するため、リスキリングと就労支援を一体的に行う拠点「UKI CAREER Hub.（仮称）」をイオンモール宇城内に整備するものである。本施設では、デジタルスキル等の習得機会を提供するとともに、講座実施のための学習スペースに加え、コワーキングスペースや交流機能を備え、学習・実践・交流を一体的に行える環境を構築する。あわせて、民間事業者の専門性を活用した運営や企業とのマッチング支援を行い、リモートワーク等を含む多様な働き方の実現を支援することで、出産・育児期にある女性を含め、20歳～39歳の女性が地域に住み続けながら働き続けられる条件を整える。これにより、地域内での安定就労につなげる仕組みを構築し、人口の流出抑制を図るとともに、市民所得の向上及びデジタル人材の育成を通じた地域産業の付加価値向上を促進し、地域経済の持続的な活性化を目指す。					 ※画像はイメージです	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・キャリアアップ支援施設指定管理業務委託料 14,055千円 ○拠点整備事業 ・建築物整備、備品、効果促進事業経費 43,037千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①20歳～39歳女性人口の社会増加数（+39人） ②出生数の増加数（▲15人） ③受講修了者の所得増加額（+250万円） ④受講者数・参加者数（+200人） ⑤受講者の満足度（+85%） ⑥受講修了者の就労率（+80%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：宇城市農林水産物直売交流施設改修事業

新規

申請者	熊本県宇城市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	286,429千円 (21,197千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 宇城市農林水産物直売交流施設の増築・改修を行い、より魅力的な施設とすることで市内外からの来場者を取り込み、農業者の生産額及び所得を向上させることを目的とする。 - 販売エリアの拡張やレイアウト変更をすることによって、機能向上及び新たな集客機能を持つ施設へと変革し、ゆとりある動線の確保、回遊性を高めることによって、売上げの向上を図る。さらには、本事業にて集客力のある核となる施設とすることで、直売所のイベント開催時に隣接する観光案内所と共同で情報発信などを行う。 - これらにより、本施設での統合的な案内・誘客を実現し、周辺観光施設等の来場者を増やすことで、観光関連の消費を拡大させるなど、一体的に改善することで、関係人口の増加及び地域経済の好循環を創出させる。また、販売面積の拡大により商品数を増やすことにより、新商品を含む加工品の取扱いを増やし、農産物の付加価値を向上させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存の販売エリアの増築及び改修を行い、柑橘・メロン・ブドウ・生姜・トマト等の地元農産物の取扱い商品数の増加、商品をPRするためのポップやデジタルサイネージを設置することで商品の付加価値を増加させる。また宅配コーナーを増築エリアへ移設し、ギフトコーナーと併設することで、発送する客が混雑することを防止し、回遊性を確保することにより販売額の向上に繋げる。 加えてイベント屋根を新設して、通年のキッチンカーや臨時テナント出店などのイベントを開催できるようにすることで、直売品の調理方法紹介など販売促進及び消費拡大を図る。 さらに、駐車場への通路屋根を新設することにより、雨天時の来場者減少を抑制する。					イメージ図 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 道の駅に整備されている農林水産物直売交流施設の増築及び改修費用 ・実施設計費 21,197千円						
主なKPI	①農業生産額（+12.6億円） ②レジ通過者数（+106,120人） ③施設利用者満足度（+3ポイント） ④周辺観光施設集客数（+293千人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：天草市デジタルアートの島創造事業

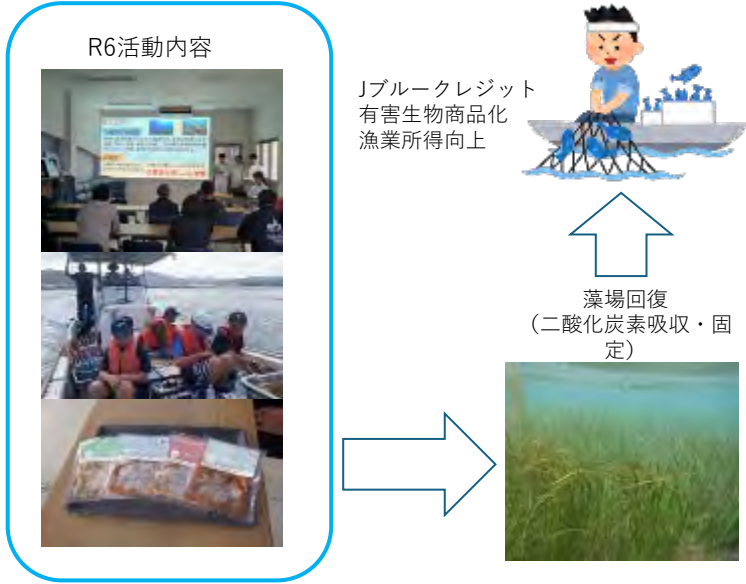
継続

申請者	熊本県天草市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	117,559千円 (25,110千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	求人に職業の偏りがありミスマッチが生じていること、地域外から稼ぐ力が弱いことを解決することを目的に、若者の流出抑制対策として、若者に人気で、雇用人数も見込める成長産業のゲーム・アニメ等のデジタルコンテンツ産業の創出に取り組み、同産業が地場産業として根付くことによる人材の定着と、外貨を稼ぐことで地域経済循環率の向上を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 これまでに天草に無かった、若者に人気で外貨を稼ぐことができ、さらに成長産業であるゲーム・アニメ等のコンテンツ産業の創出を、産官学金の連携で実現する。具体的には、①ゲーム・アニメ等のコンテンツ制作会社の誘致、②ゲーム・アニメ等クリエイター育成、事業の啓蒙、③市内デジタルコンテンツ企業へのクリエイター雇用マッチング支援、④デジタルアート産業の地元定着促進のために事業推進組織としてCG・デザイン制作会社（一般社団法人デジタルアート天草）を官民共同により設立、⑤天草独自のコンテンツ制作・発信体制の構築を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ゲーム・アニメ制作会社の誘致プロモーション（委託料等）5,000千円 ・中学生、一般向けの人材育成・普及啓蒙講座等（委託料）4,640千円 ・デジタルコンテンツ産業人材獲得（委託料等）3,070千円 ・（一社）デジタルアート天草の運営（委託料）5,000千円 ・デジタルコンテンツ制作・発信体制構築（委託料）7,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①コンテンツ産業の市内の雇用者数（+29人） ②コンテンツ産業の進出企業数（+8社） ③クリエイター育成講座への参加者数（+190人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00312588/index.html

事業概要：天草市ブルーカーボン推進事業

旧制度（推進）

申請者	熊本県天草市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	38,650千円 (10,700千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的・効果	良質な藻場の回復を図り、本市全域のブルーカーボン事業創出を図る 海藻増・養殖試験実証を行い、市内における海藻増・養殖の団体を増やす 植食魚類等の駆除実証試験を行い、藻場の保全を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内各地で実施されている藻場保全活動の集約を行うとともに、更なる藻場造成等の事業推進を継続して実施することで、本市におけるカーボンニュートラルへの取り組みや持続可能な水産業の確立を目指す。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ブルーカーボン創出事業（委託料）5,700千円 ・藻場の現地調査、二酸化炭素吸収・固定量の推計 等 ・クレジット申請・認証・クレジット申請支援・認証にむけた検証 ○海藻増・養殖試験実証実験（委託料）3,000千円 ・トサカノリ養殖試験（五和町二江） ・トサカノリ・ワカメ養殖試験（天草町軍ヶ浦） ・ワカメ養殖試験（御所浦町横浦） ○有害生物駆除試験（委託料）2,000千円 ・有害生物（イスズミ等）の水揚げ量調査、水揚げに伴う購入価格調査、商品化に向けた市場調査および生態調査		
KPI	①本交付金事業実施に伴う農林水産就労者数（+15人） ②本交付金事業実施に伴う新規の藻場造成面積（+6ha） ③本交付金事業実施に伴う新規の海藻増・養殖実施団体（+3団体） ④本交付金事業実施に伴う有害駆除実施団体（+9団体）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/kiji00311408/index.html



事業概要：合志共生スポーツ産業クラスター創出事業

新規

申請者	熊本県合志市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,405,310千円 (1,058,874千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本事業は、製造業に偏重した産業構造を是正し、御代志エリアを中心とした飲食・宿泊・小売業等の地場産業を活性化させるための戦略的投資である。 ・中九州横断道路整備で消失した総合スポーツ拠点を再整備し、市外へ流出していた交流人口を取り戻し、経済波及効果を最大化するため、御代志駅前の商業・宿泊基盤と連携した「1泊滞在型コンテンツ」や、御代志駅エリアの商業店舗と連携した「イベント連動パッケージ」を開発する。スポーツの躍動と恵楓園の歴史資源を融合させた独自の付加価値により、サービス業の労働生産性を高め、製造業に依存しない持続可能な「スポーツ産業クラスター」の創出と若者の定着を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 公式戦対応の野球場や多目的グラウンド、テニスコート、弓道場を一体整備し、市外へ流出した年間約1.5万人の交流人口を取り戻し、御代志エリアへの強力な集客動線を構築する。 御代志地区土地区画整理事業により整備される商業施設や宿泊施設と、隣接する菊池恵楓園内のスポーツ拠点を戦略的に連携させ、地場産業の活性化と「稼ぐ力」の強化を目指す。 単なる施設貸しに留まらず、近隣のホテルや飲食店、小売店と連携した「1泊滞在型パッケージ」やクーポン事業を展開することで、来訪者の滞在時間を延ばし、地域外所得の獲得を最大化する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・公園・グラウンド整備費 多目的グラウンド・進入路工事 274,176千円 調整池工事及び付随工事 193,361千円 野球場設備・屋外トイレ設置工事 156,741千円 野球場工事 434,596千円						
主なKPI	①交流人口（市外からの施設利用者+大会参加者+連携クーポン利用者）（+30,000人） ②観光入込客数（+5,300人） ③18～30歳人口（+510人） ④菊池恵楓園と市のハンセン病問題についての教育・啓発の取り組みを「知っている」人の割合（+19.5%）					URL	令和8年8月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：産学官連携による地方創生“eスポーツでいい里づくり事業”

継続

申請者	熊本県美里町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	40,694千円 (10,335千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業の実施によって、地域住民一人一人が、より生き生きと、一生涯、誰もが、活躍をすることができる場所と役割を持てる地域社会であり続けることを図る。 学術的なエビデンスに基づいたeスポーツを活用した事業実施により、高齢者の運動・認知機能の向上、地域内外の交流の増加による生きがいづくり、eスポーツへの理解促進、住民の健康寿命の延長を実現することにより、全ての世代がいつまでも地域の重要な構成員として活躍する持続可能な地域社会の構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 eスポーツをツールとして、高齢者の介護予防、多世代・地域間交流の促進、および地域コミュニティの活性化を図る。体験機会の創出から指導員育成、定着支援までを一体的に行い、住民相互の交流と健康づくりが持続する地域社会を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・高齢者eスポーツ普及促進・効果検証事業 ・地域コミュニティにおけるeスポーツを用いた介護予防事業（委託料）4,433千円 ・高齢者eスポーツ指導員養成講座委託料 495千円 ・地域コミュニティ活性化eスポーツ事業委託料 3,630千円 ・eスポーツを活用した交流促進事業 ・住民を対象としたeスポーツの体験事業実施費 677千円 ・eスポーツを通じた交流事業（委託料）1,298千円 ・eスポーツの練習環境の整備に係るソフトの使用許諾費 55千円						
主なKPI	①本町の健康寿命の延長（男性）（+1歳） ②本町の健康寿命の延長（女性）（+1歳） ③eスポーツイベント（プログラミング、交流会、講座）参加者の満足度（+9%） ④高齢者通いの場における「高齢者eスポーツ講座」の開催地区数（+3地区） ⑤高齢者通いの場の参加者数（+30人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kumamoto-misato.lg.jp/soshiki/utsukushisatosose/1/20/3074.html

事業概要：選ばれる美里町（持続可能なまちづくり事業）

継続

申請者	熊本県美里町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	94,700千円 (30,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	当初の推計を上回る人口減少率となっており、商店街においても事業継続が難しく閉店した店も多く、活性化のためには交流人口の拡大も喫緊の課題となっている。 そのため、T S M C進出により社会情勢が急激に変化する今、人口増加、インバウンド観光客の取り込みに向けた施策を集中的に実施する。 地域に賑わいを創出し、持続可能な町として発展していく礎を築くことを本事業実施により目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町中心部への定住促進、山間部を含む生活基盤の強化、および地域資源を活用した観光産業の自立化・高付加価値化を目的として実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・移住・定住の推進 ・移住体験施設活用移住プロモーション（委託料）3,000千円 ・美里ブランド推進プロモーションムービー制作（委託料）4,000千円 ・山間地における移動販売の強化 ・取扱商品、販売エリア・回数の更なる拡充に向けた実証実験 5,000千円 ・冷蔵車両1台購入費 3,000千円 ・選ばれる観光地づくり推進事業 ・観光戦略に基づく海外向けSNS戦略の展開（委託料）5,000千円 ・美里ランタンフェスティバル自立化実証実験（補助金）10,000千円						
主なKPI	①本町の人口数（▲365人） ②入込観光客数（+3万人） ③宿泊客数（+3千人） ④美里暮らし体験住宅「いろは」の利用者数（+300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kumamoto-misato.lg.jp/soshiki/utsukushisatosose/1/20/3074.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：人口減少対策のための仕事、安全、子育て分野でのアクションプラン事業

新規

申請者	熊本県美里町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,195千円 (7,195千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・地域に新たな基幹産業を誘致・創生することを目指し、新たな産業の受け入れ態勢を整えるため、公共交通における基盤整備による「働きやすい環境の整備」と、「安心安全な定住基盤の確立」を一体的に推進し、持続可能な産業構造を構築することを目指す ・「しごと」の創出： 民有地や遊休資産を活用した戦略的な企業誘致を行い、地域内での雇用機会を拡大することで、人口減少に歯止めをかける。 ・生活基盤の強化： 地域公共交通の利便性向上により、地理的ハンディキャップの解消を図ることで雇用機会創出のための受け皿をつくる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少対策の核となる「しごと創出」と、それを支える「安心・安全な生活基盤の整備」を一体的に推進する。 しごと創出では、民有地を含めた候補地の適地調査や企業ニーズの把握を行い、実効性の高い企業誘致活動を展開することで、雇用の創出と移住・定住の増加を図る。 生活・安全面では、公共交通の総合時刻表作成を実施し、交通の利便性を向上させることで生活基盤整備を進め、本町へ移住し生活することへの安心感を高める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・企業誘致可能性・適地調査事業委託費 5,600千円 ・地域公共交通運行パンフレット等作成委託費 1,595千円						
主なKPI	①本町の人口数 (▲360人) ②企業マッチング件数 (+1件) ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.town.kumamoto-misato.lg.jp/soshiki/utsukushisatosose/1/20/3074.html
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：女性の活躍促進とまちの魅力向上による生き生きと活力あるまちづくり事業

継続

申請者	熊本県長洲町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	40,084千円 (13,642千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・人口減少によりまちの活力喪失が危惧される中において、町の魅力発信による関係人口の創出、移住による地域経済の活性化を図る。 ・女性の就労に向けたスキルアップ支援・就労支援を通して、自己実現ができる魅力的な雇用を創出するとともに、子育て支援に係る施策の展開を通して女性にとって暮らしやすいまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スキリング事業等を通して、女性の就労に向けた学びの場を提供し、柔軟な働き方に係るスキルの習得や、収入確保による生活の安定等に係る創業に向けた支援を行い、労働人口の流出抑止を図る。また、シティプロモーション事業による町の魅力を広く発信し、関係人口づくりや町への移住・定住の促進を図ることで、人口減少の歯止めに資する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・スキリング事業（委託料） 1,472千円 女性を対象としたオンラインによるホームページや動画制作等に係るデジタルスキルの習得を目指す。 ・創業等スタートアップ支援事業（報償費） 120千円 経営の基礎知識や経営戦略、収支計画等に係る創業セミナー等を開催する。 ・女性の活躍応援事業（報償費） 50千円 在宅ワーク等の柔軟な働き方に関するセミナーの開催等を通して、安定した就労と家事、育児の両立を図るための子育て支援を実施する。 ・シティプロモーション事業（委託料） 12,000千円 ふるさと納税寄附等に対し、町観光スポット情報の配信等による関係人口拡大を図る。						
主なKPI	①女性の創業件数（+3件） ②スタートアップ支援事業への参加者数（+7人） ③シティプロモーション活動対象者数（+2,420人） ④事業への参加によって、創業意識が向上した求職者の割合（+40%） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.town.nagasu.lg.jp/sos/hiki/machizukuri/kikaku/17766489111901508/
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：次世代人材・地域事業創出によるまちづくり事業

新規

申請者	熊本県長洲町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	14,000千円 (2,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、長洲町における創業・事業継続の停滞を解消するため、創業者数の増加を最重要目標として、地域内で事業を担う人材を育成・輩出し、持続的な地域経済の形成を目指す。創業希望者や既存事業者が事業構想力・経営力・実行力を体系的に習得できる環境を整備し、【オンラインローカルビジネス大学（ロカ大）事業】による実践的な人材育成、特定創業支援事業による創業前後の伴走支援と、【DX推進・アクセラレーション事業】による業務効率化・デジタル活用支援を連動させることで、創業の実行率を高め、新たな創業者の継続的な輩出と、新規事業創出や既存事業の付加価値向上を促進する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ローカルビジネス大学：実戦的アウトプット重視の6か月プログラム 経営やDXなど20種類以上の動画教材で24時間いつでもインプットが可能。月1回のリアルな「壁打ち」や、月8回以上のオンライン相談会といった豊富なアウトプット機会を提供。学んだ知識を即座に実務へ活かし、6か月間で5名の受講者が自走できる事業改善・実践力を養う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 オンライン型ローカルビジネス大学の開校・運営(委託料2,000千円) 経営・DX等をテーマとしたオンライン学習コンテンツによる体系的なインプット機会の提供。定期的なオンライン相談会や対話型セッションによる実践的なアウトプット機会の創出。受講者ごとの事業課題に応じたメンタリングおよび継続的な伴走支援。事業改善や創業に向けた行動計画の策定から実行までを一体的に支援。これらにより、新規創業者の創出および既存事業の高度化につなげる。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①創業者数(+6事業者) ②既存事業者の成長・経営力向上(+12事業者) ③実戦的な経営基盤を確立し「自走」する事業者数(+12事業者) ④町内事業者のデジタル活用浸透率(+40%) ⑤伴走支援によるDX実戦力の向上(+5事業者)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.nagasu.lg.jp/sos/hiki/machizukuri/kikaku/17766489111901508/

申請者	熊本県和水町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	103,360千円 (28,450千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・町内事業者に対し、利益を生む支援や無駄な工数の削減・本業に専念できる体制づくりの支援を行い、その成功例を横展開することで、町全体のポトムアップを行い、地域の稼ぐ力の向上を図る。 ・女性や若者が望む町内に新しい形の雇用の場やデジタルを活用した新しい働き方を創出することで、職業や働き方の選択肢を増やし、多様化するライフスタイルに幅広く順応できる環境づくりを進め、女性活躍や男性の育児参画、ひいては人口流出低減やUIJターンの促進を図る。 ・廃校をサテライトオフィス施設として有効利用することで、活力が減退した地域への新たな人流を生み出し、オフィス利用、事業者同士・事業者と地域住民等が交流等をととして、新たなビジネスや賑わいが生まれる場とし、地域活力を創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域課題や町内事業者のニーズを踏まえた企業誘致活動を展開する。デジタル人材の育成については、就労と生活条件の不整合というアンケート結果を踏まえ、今年度は更なるスキルアップやアウトソーシングで受注した業務の対応など、新たな働き方の定着に向けての事業展開を行う。また、オフィス施設を拠点とした新たなステークホルダーの発掘やスモールビジネスの創出支援を行い、町の産業面の活性化にも取り組む。 本町独自で進めている「食のブランド化事業」において、一次産品等の高付加価値化に取り組んでおり、出口戦略のひとつとしてライブコマース活用に向けた支援等を行うなど、横断的な施策展開により地域の稼ぐ力の向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・サテライトオフィス等誘致の支援調整（委託料）3,300千円 ・デジタル人材育成、町内企業の課題解決機会創出（委託料）9,350千円 ・ステークホルダーの発掘、スモールビジネスの創出支援（委託料）4,800千円 ・販売力向上に向けた新たな販売チャネル獲得支援（委託料）11,000千円						
主なKPI	①地域における新規雇用者数（+4人） ②サテライトオフィス等誘致数（+4社） ③女性のデジタル人材育成・確保（+8人） ④サテライトオフィス施設を拠点に複数の主体が参加するイベント件数（+20件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL	https://www.town.nagomi.lg.jp/chousei/chihousei/%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E6%9C%AA%E6%9D%A5%E4%BA%A4%E4%BB%98%E9%87%91%E3%80%80%E7%AC%AC%EF%BC%92%E4%B8%96%E4%BB%A3%E3%80%80%E6%96%B0%E3%81%97%E3%81%84%E5%9C%B0%E6%96%B9%E7%B5%8C%E6%B8%88/17793264141328554/

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要： 観光振興・交流促進による里山魅力向上と選ばれる村づくり

継続

申請者	熊本県産山村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	36,000千円 (12,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	里山文化・高原型農山村文化の継承をテーマとした「観光」の振興と「移住定住」の事業間連携、地域資源の掘り起こし等を通して「選ばれる」地域としての魅力向上を目指す。 里山文化の継承に共感し、参画・協働する「関係人口」を拡大し、本村の人手不足やノウハウ不足を補うとともに、発信力を高めて移住定住先として選ばれる「好循環の仕組み」を創出し、持続可能な村づくりに寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 移住希望者と地域住民がつながるコミュニティを醸成する。また、阿蘇外輪の里山文化・高原型農山村文化をテーマにしたイベントやツアー等を開催すると同時に、地域資源の掘り起こしや特産品のPRをすることで、「選ばれる」地域としての魅力を向上していく。これらの過程を通して、里山文化の継承に共感・参画する「関係人口」を拡大し、本村の人手不足やノウハウ不足を補うとともに、移住定住先として選ばれる「好循環の仕組み」を創出する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・観光・移住定住事業間連携（参加型・体験型交流イベントの定期的開催、滞在体験型イベント等の企画・運営等）2,000千円 ・里山魅力向上観光イベント実施（「見る、聞く、体験する」ツアーの開催、村での暮らしや人々を知る「里山講座（仮称）」の開催等）3,500千円 ・地域資源の掘り起こし・販売促進（販促プロモーションの展開、地域資源の掘り起こしによる新たな地域ブランドづくり等）4,300千円 ・関係人口拡大（デジタルプラットフォームの形成、提案型・参加型のイベントやワークショップの開催、来村の機会の創出等）2,200千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①一人あたりの観光消費額（+1,200円） ②空家バンク契約成立数（+6件） ③出生数（+6人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.ubuyama-v.jp/sonseijoho/muranokeikaku/planning/519.html

事業概要：魅力発信・周遊促進及び村内公共交通利便性向上による西原村魅力増進事業

新規

申請者	熊本県西原村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	105,961千円 (18,446千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・周遊環境の整備とデジタル活用により、通過型観光からの脱却とインバウンドを含む誘客を図り、村内滞在時間の延長を通じて地域全体の観光消費額を最大化し経済を活性化し、地場産業支援につなげる。 ・交通結節点の機能強化と新たな村内交通の導入により、持続可能で利便性の高い公共交通網を再構築を検討する。 ・若年層の定住意向向上と将来の新駅接続を見据えた住環境の充実により、人口動態の維持と地域存続を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 伸び悩む村内観光産業の促進のため、周遊環境整備と村外に向けたPRを実施する。具体的には県外主要都市への広域観光PRや著名人を活用した魅力発信を行うとともに、村内の観光スポットにポイントを設定し、村の特産品等を景品としたデジタルスタンプラリーを実施する等、インバウンドを含む交流人口の拡大と通過型からの脱却を図る。 また、西原村運動公園周辺の交通結節点化に向けた計画策定やそれに伴うサイクル&ライド等の環境整備に加え、新しいモビリティ交通等公共交通サービスの導入に取り組む。これにより、住民の移動利便性を高め、持続可能な交通網の構築を検討し、住民の定住意向を向上する。 観光と交通の一体的な整備により地域課題を解決を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・デジタルスタンプラリー周遊事業（1,842千円） ・広域的観光PR事業（1,332千円） ・公共交通結節点計画事業（西原村運動公園周辺）（10,033千円） ・魅力発信周遊整備事業（5,239千円）						
主なKPI	①西原村観光消費額（+181,652千円） ②人口動態（自然動態・社会動態の計）の維持（±0人） ③村内コミュニティ交通等新規交通サービスの導入数（+1件） ④村ホームページ専用情報サイトアクセス数（+14,000件） ⑤「益城・西原空港ライナー」の1日平均乗車人数（2.4人／日）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.nishihara.kumamoto.o.jp/

事業概要：西原村農産物PR事業

新規

申請者	熊本県西原村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	15,180千円 (5,140千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・西原村及び西原村産甘藷の知名度向上を狙うことで、人口の増及び、農家の所得増に繋げていく。 ・さつまいもブームが定着しつつある中で、販路拡大・動画配信を行い、さらなる西原村ブランドの確立を狙い、新規就農者の確保を目指す。 ・異常気象が続くなか、安定した出荷が出来るよう、資材の実証実験を行い、安定した農業経営を目指す。これらにより、地場産業支援に資する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本村の特産品である甘藷のブランド力向上及び、安定した農業所得の確保に向け、販売促進及びデジタル動画配信事業に取り組み、全国に向けた西原産甘藷の認知・定着と生産者の所得向上を目指す。併せて、安定出荷に向けた実証事業を実施し、青果出荷量の安定化を図る。 また、これらブランド力・認知度の向上や安定出荷支援を通じた農家の所得向上により、本村の慢性的な課題である高齢化等に伴う離農・規模縮小農家の受け皿となる新規就農者等の担い手を確保し、地域農業の担い手不足の解消を目指していく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・農産物の高付加価値化事業（委託料）1,700千円 ・農産物のデジタルPR動画作成事業（委託料）：2,000千円 ・農産物安定出荷実証事業（補助金）：1,440千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物出荷額（+1.44億円） ②新規就農者数（+10人） ③甘藷総販売額（+1.44億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.nishihara.kumamoto.jp/

事業概要：益城町ウェルビーイング創生プロジェクト

～健康を地域のチカラに。食と交流で育む持続可能な産業振興と定住促進～

新規

申請者	熊本県益城町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	61,419千円 (30,169千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・都市部にはない「独自の体験価値（食・自然）」を提供して地域内外の子育て世代を呼び込み、関係人口の増加を図る。 ・健康志向に対応した高付加価値商品の開発により、客単価の向上と新たな顧客層を開拓し、地場産業（小売・農業・飲食）の収益力を強化する。 ・イベントや環境整備により交流人口を拡大し、ウェルビーイング向上に寄与した結果、子育て世代の人口維持に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「食」や「イベント」等の稼ぐコンテンツを軸に、その舞台となる環境整備を一体的に推進し、持続的な経済循環を生み出す。具体的には、大規模フェスタの開催や地域イベントの刷新、高まる健康志向を見据えた運動教室等を通じて地域内外から交流人口を拡大し、地場製品の販売や体験提供により外貨を獲得する。併せて、これらの活動の受け皿となる「歩きたくなる空間」を創出するため、まちなみ助成や拠点整備を行い、来訪者の滞在時間を延ばし地域内消費を拡大する。これらにより、子育て世代によって魅力的な生活環境と活力ある地域経済を実現し、子育て世代の人口の維持・拡大に繋げる。					持続可能な地域社会の実現 地域経済の活性化 健康寿命の延伸 ウェルビーイングの実現 歩きたくなる「ウェルビーイング環境」創出事業 集大成イベント「ましきウェルビーイング・フェスタ」 地域コミュニティ活性化支援事業 体系的食育プログラムの推進 暮らしにプラスワン！健康アクションの推進 生涯健康学習「ましきウェルネス・カレッジ」	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・歩きたくなる環境創出事業（まちなみ助成、教室等）：9,062千円 ・地域コミュニティ活性化支援事業（活動支援等）：6,525千円 ・集大成イベント「ましきウェルビーイング・フェスタ」：3,294千円 ・暮らしにプラスワン！健康アクションの推進：182千円 ・拠点施設整備事業（記念館環境整備）：2,400千円						
主なKPI	① 関係人口（町外からの交流・消費人口）（+2,000人） ② 子育て世代（20～40代）人口（+702人） ③ 総人口（+780人） ④ 産業活動の活発さに対する満足度（子育て世代）（+9.6%） ⑤ 心身の健康実感度（子育て世代）（+7.3%） ⑥ 集大成イベント「ましきウェルビーイング・フェスタ」参加者数（+2,000人）					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.mashiki.lg.jp/kiji0037406/index.html

事業概要：甲佐町商店街を中心とする中心市街地活性化プロジェクト

～人々が“こうさ”するまちへ～

継続

申請者	熊本県甲佐町					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	31,025千円 (12,612千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	甲佐町の住民、商工会、商店事業者、地域づくり団体などが連携・協力して、魅力ある商店街づくりと商業の活性化を図る。また、DMOを含んだ新たな組織体を立ち上げ、観光振興と中心市街地を含む地域全体の活性化を加速させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・【甲佐町中心市街地活性化事業】 甲佐町における観光振興と中心市街地を含む地域全体の発展をより一層加速させるため、DMOを含んだ新たな組織体（以下、「組織体」という）を立ち上げる。 ・【甲佐町やな場整備事業】 町の歴史ある観光施設である「甲佐町やな場」から商店街へ年間を通して回遊してもらうため、「甲佐町やな場」の魅力を増進する整備に係る設計を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・事務費（報償費、費用弁償等） 249千円 ・組織体設立に係る各種支援業務委託料 7,000千円 ○ハード事業 ・建物改修に係る実施設計業務委託料 5,000千円						
主なKPI	①地域の人口（▲639人） ②商店街と一体となったイベント等に参加した観光客数（+1,100人） ③商店数（+5店舗）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kosa.lg.jp/q/aview/134/13292.html

申請者	熊本県甲佐町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	46,348千円 (15,924千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	産業人材育成プログラムを実施し、産業人材を育成することで、起業家数及び地元就業者数の増加を図る。 IT及び通信系起業家等を町に呼び込み、連携することで、デジタル人材の育成や起業人材と学生人材を中心とした起業意欲の向上や地域産業の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 甲佐高校と連携して地域の課題をビジネスモデルを通じて解決策を講じる産業人材育成プログラムを実施することで、起業することへの興味、関心の機運を醸成する。IT及び通信系の起業家等を中心市街地拠点施設等に呼び込み、デジタル技術などを地域に波及させることで、デジタル人材の育成や起業人材と学生人材を中心として起業意欲の向上や地域産業の活性化を推進するとともに、町内で新たに創業や新分野に進出する者に対する支援策を講じることで、新規事業展開の機運醸成を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 【ソフト事業】 ○産業人材育成プログラム（委託料）5,000千円 ○産業立地・人材養成等支援事業（委託料）6,500千円 ○創業支援事業（補助金）3,000千円 ○地域人材育成支援（委託料）824千円 ○移住体験ツアー企画運営（委託料）600千円						
主なKPI	①起業家数（+2人） ②産業人材育成プログラム受講者の町内企業に就職した人数（+2人） ③人材育成セミナー・交流イベントへの参加者数（+110人） ④中心市街地拠点施設への入居者数（+4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kosa.lg.jp/q/aview/134/13292.html

事業概要：地域共創デジタル移住支援事業

新規

申請者	熊本県甲佐町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	35,400千円 (12,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	移住者向けに「甲佐町への移住」を条件としたWEBマーケティングの無料講座を実施するとともに、町外・県外の移住希望者向けの就職支援プログラムを実施することで、仕事を確保した移住者の獲得を目指す。 「稼げるDX人材」を集中育成するとともに、町や地元企業の課題解決に向けた共創開発を進め、「地域課題を地域人材で解決できる仕組みの定着化」及び「課題解決に向けた共創開発の実現」を図る。地場企業が抱える業務のデジタル化などの課題解決に寄与しながら地域全体の産業の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「甲佐町への移住」を条件としたWEB marketer 養成講座を実施することで仕事を確保した移住者を獲得する。併せて移住情報に特化したサイトの構築も行うことで移住後のイメージが想像できる情報を随時提供する体制を構築する。 また、町外・県外からのDX人材の確保に加え、町民向けのDX講座を開催することで町内のDX人材を育成し、関係人口の継続確保のためのアイテム及び地域経済の活性化のための地域通貨システムの構築に取り組める人材を集中的に育成する。					<pre>graph TD; Town[町] -- 委託 --> Private[民間]; Private -- 人材育成 --> Residents[地域住民]; Residents -- DX推進 --> Local[地元企業]; Local -- 活性化 --> Town;</pre>	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 移住・就職支援プログラム運営業務委託 ・WEB marketer 養成講座企画運営・・・4,300千円 ・移住支援専門サイト構築……………5,000千円 地域経済デジタル化推進業務委託 ・地域経済デジタル推進業務委託………3,500千円						
主なKPI	①地域における移住者（+60人） ②WEB marketer 養成講座受講者（+15人） ③講座修了者のうち移住決定者の割合（+225%） ④課題解決モデルケース（+2件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kosa.lg.jp/q/aview/134/13292.html

事業概要：ICT活用による雇用創出に向けた地域連携プロジェクト

新規

申請者	熊本県甲佐町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	47,281千円 (13,599千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・人口減少を抑え、安心安全で住み続けたい町による強い経済を構築するため、ICTを活用して若い世代や女性を対象とした雇用創出を地域全体で進める。 ・町内のスタートアップ支援施設と連携を行い、若い世代や女性を対象とした在宅等での就業の場を創出すると同時に、新たな地域の魅力を掘り起こし、地域内で産官学の連携強化を図り、地域の課題解決を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本町の人口減少及び少子高齢化の要因となっている若い世代や女性の流出を防ぐために、町内のスタートアップ支援施設と連携を行い、雇用（活躍）の場を創出する。将来的な事業実施主体の立ち上げを見据え、ICTを活用したりリモート事業を雇用の場として創出することで、子育て世代であっても在宅等での就業が可能となり、若年層がいない地域においても地域コミュニティの維持や共助を可能とすることができる。 また、社会福祉協議会や医療機関、商工関係団体、町内の高校等との産官学による連携強化により、ICTを活用した多角的な支援を構築し、安心安全で住み続けたいまちづくりを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・見守り支援員による高齢者の孤立解消、見守り支援の充実 (委託料) 1,791千円 ・フルリモート支援環境の構築及び貸出 (委託料) 6,105千円 ・ICT技術を活用した実証実験の実施 (委託料) 5,703千円						
主なKPI	①新規雇用創出数（+2人） ②町内の女性（30代）比率の増加（+2%） ③甲佐高校入学志願者数（+5人） ④本事業への参画事業者数（+2者） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kosa.lg.jp/q/aview/134/13292.html

申請者	熊本県氷川町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	11,014千円 (11,014千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・新規創業者数を増やし地域の店舗数の増加とこれに伴う働く場の創出、延いては雇用者数の増加や人口減少の歯止めとする。 ・地域農産物等の消費にもつながり、新たなビジネスモデルによる労働生産性の向上や地域経済の好循環を生み出す効果がある。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 氷川町の課題は、新規創業者の不足が招く地域経済の鈍化です。これが労働力の流出と空き店舗の増殖という悪循環を作っています。 本事業は、最重要KPIである「新規創業者数の増加」によりこの連鎖を断つものです。町内に低リスクな「チャレンジショップ」を整備し、商工会と共に創業者を支援し新規創業者を地域に定着させていきます。 これから輩出された創業者が町内での出店や事業承継を担うことで、空き店舗解消と雇用創出の好循環を創り出し、持続可能な地域社会を実現します。 整備されたチャレンジショップでは、氷川町で生産された食材を使ったスープやサラダ、フルーツ等のドリンクがメニューに組み込まれた美味しい料理が楽しめる飲食店を想定しています。20歳代から60歳代の女性や、ママ友、カップル等、SNSを通じて情報を知った多くの人が来ることを想定し、氷川町での滞在時間が長くなる仕組みを採用入れます。 チャレンジショップを利用する新規起業家は、ショップ卒業後に地域に定着する者である必要があります。そのため、募集の条件に地域で開業の意思のある者を付します。また、開業後も地域を引っ張る若い力が望ましいと考えているので、可能な限り若い起業家の利用を考えています。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 チャレンジショップ整備（改築） ・設計費1,917千円・外装工事費4,409千円・内装工事費2,644千円 ・電気工事費860千円・給排水空調工事費1,184千円・光熱水費240千円						
主なKPI	①新規創業者数（+15人） ②チャレンジショップから独立した事業者の町内出店数（+3店舗） ③空き店舗解消数（+3箇所） ④チャレンジショップ応募人数（+17人）					URL	令和8年9月公表予定
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：「選べる暮らし」創造プロジェクト

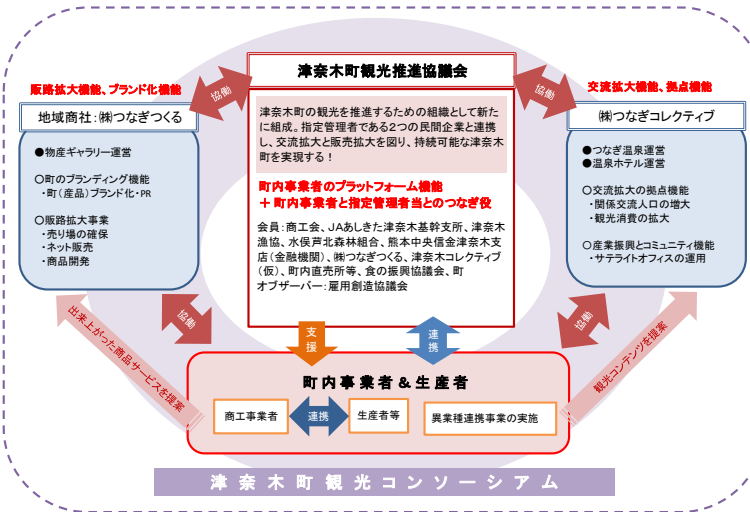
継続

申請者	熊本県芦北町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	26,995千円 (6,550千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・二地域居住や転職なき移住をテーマとした施策を通じて、芦北町のことを「自分ごと」として捉える「深い関係人口」を創出し、一過性ではない長期的な関係を持った人を増やす。 ・地域DX推進等による生産性向上と、それに伴う従業員の待遇向上、女性や若者が働きやすい就労環境の整備を行い、若者や女性に選ばれる働く場づくりを行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 令和7年度事業から得られた知見を基に、中小企業DX推進支援により、地域内の魅力的な働く場を創出するとともに、組織横断型研修プログラムを本格稼働させることにより、実務スキル習得と地域内企業間の新たな接点創出を目指す。 また、「二地域居住」というアプローチの有効性が認められたことから、保育園留学を核としたUIターン促進体制を整備し、子育て世代（25歳～44歳）の定住者増加を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・中小企業経営DXモデル事業（委託料）3,300千円 ・組織横断型研修プログラム構築事業（委託料）2,750千円 ・芦北町ビジネスフェア事業（補助金）500千円						
主なKPI	①地域へのUIターン数（+15人） ②テレワークセミナー及び人材育成セミナーの受講者数（+200人） ③25歳～44歳の定住者数（+15人） ④事業を通じたテレワーク新規就業者数（+15人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.ashikita.lg.jp/chos ei/shisaku/shinkokeikaku/2106267

事業概要：地域材循環×木育×多世代交流による林業・木材産業振興拠点整備事業

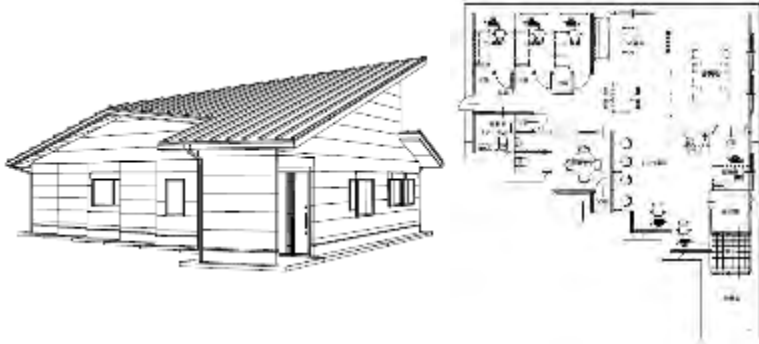
新規

申請者	熊本県芦北町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	48,840千円 （23,670千円）
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・町産材の需要創出（公共施設木質化を起点に域内受注・付加価値化）、木育・伝統木造技術の学び（人材育成・技能継承）、多世代交流を通じた地域の誇り・愛着形成、により、森林資源を地域の暮らしと経済に循環させる「木のまち」の実装を目指し、地場産業支援につながる。 ・また、本事業に加え、町の林業研修や自伐型林業支援等の既存施策と接続し、体験から参入・就業・定着までの導線を具体化することで、林業就業者数の増加と、町産材需要の拡大（公共需要＋民間需要）を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 町内公共施設（総合コミュニティセンター等）に、町産材を用いた内装木質化（WoodInfill）と木製備品（木育ツール等）を整備し、地域材を「見て・触れて・使える」環境を常設する。 整備した木質空間・木製備品を教材／実証物として活用し、木育フェス（木造建築の伝統技術を学ぶ講座・木工体験・チェーンソーアート・高性能林業機械展示など）や研修制度・補助制度の説明、事業者との交流などを拠点で定期的に実施する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備 ・木質空間の設置 8,800千円×2か所 ・木質空間備品・木育備品 1,485千円 ○効果促進事業 ・木育フェス（イベント）						
主なKPI	①林業就業者数（＋5人） ②関係人口（木育・町産材利用に関わる町外参加者数）（＋200人） ③町産材を活用した新築住宅建築件数（＋3件） ④森林環境譲与税を活用した森林整備面積（＋12ha）					URL	https://www.town.ashikita.lg.jp/chosei/shisaku/shinkokeikaku/2106267
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

申請者	熊本県津奈木町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	111,700千円 (36,300千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	町全体で観光を振興するための推進母体（観光推進協議会）を設立し、新たに整備した宿泊交流拠点ををはじめ同じエリアに集積する物産館や美術館等との連携によって体験プログラムやお土産品などの観光商品・サービスの造成を行うとともに、町のセールス・PR活動を強力に推し進めることで、観光産業と第一次産業を軸として津奈木町への新たな人の流れを生み出し、町の稼ぐ力を創出する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光推進協議会を設立し、新たに整備した宿泊交流拠点等と連携して観光商品・サービスの造成を行うとともに、町のセールス・PR活動を強力に推し進めることで、観光産業と第一次産業を軸とした交流拡大による地域（経済）の活性化を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 （1）観光推進協議会設立・運用 2,500千円 ・協議会設立・運用（事務職員人件費、旅費、消耗品費） （2）観光PR及びセールス 10,300千円 ・都市圏観光物産展委託 ・都市圏PRイベント委託 ・ディスプレイキャンペーン実施委託 ・PRイベント実施委託 （3）観光物産商品造成及び販売促進費 19,900千円 ・公募型及び指定管理者連携型商品造成委託 ・商品PR・販売促進マネージャー配置委託 ・観光ツアー実証委託 （4）情報発信 3,600千円 ・WEBメディア等活用広告費						
主なKPI	①観光消費額（+1.5億円） ②観光入込客数（+29,100人） ③観光客向け商品・サービス造成数（+24個） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.tsunagi.lg.jp/page4670.html

事業概要：交流・関係人口創出のためのサテライトオフィス等整備及び利用促進事業

継続

申請者	熊本県湯前町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	85,900千円 (10,701千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	サテライトオフィス等の整備と情報発信事業の相乗効果により湯前町の知名度を全国的に向上させるとともに、地域内外の交流の場を増やすことで地域の活性化を図る。 企業のサテライトオフィスなどを誘致し、地域活性化と新しい雇用の創出、地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・情報発信事業 湯前町にあるコンテンツを再認識及び強化することにより観光客などの交流人口の増加を図る。 ①湯前町の認知度向上に向けたプロモーションの実施 ・企業誘致促進事業 地場企業などの民間企業と連携したイベントの開催により、他自治体との差別化を図りながら湯前町を知ってもらうコンテンツの一つとしてビジネスカンファレンス等を開催。企業誘致モニターツアーにおいては自立に向けた「企業が企業を呼び込む企業誘致」の実現に向け、上記の情報発信事業と連携しながら実施する。 ①地方創生ビジネスカンファレンスや定期交流会の開催 ②企業誘致モニターツアーの実施						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・情報発信に関する事業 ・認知度向上に向けたプロモーションの実施（委託料） 4,000千円 ・企業誘致促進事業 ・ビジネスカンファレンス及び定期交流会の開催（委託料） 1,987千円 ・企業誘致モニターツアー等の実施（委託料） 5,896千円 （対象外経費：1,182千円）						
主なKPI	①観光入込客数（+100,000人） ②サテライトオフィス及びコワーキングスペース利用者数（+3,400人） ③企業誘致数（+11件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.yunomae.lg.jp/ki/ji0032199/index.html

事業概要：水上村陸上競技場整備事業

継続

申請者	熊本県水上村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,398,568千円 (1,510,188千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・当施設の整備により、今まで以上の質の高いスポーツ合宿の実現による交流人口・関係人口の獲得と拡大を目指す。 ・通年で人を呼び込み、村内事業者の安定した収入・雇用創出を目指し、「住まいと雇用」をセットに、トータル的な移住定住施策の実現へつなげ、本村の一番の課題である人口減少を食い止める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 スポーツ合宿者が滞在する、湯山温泉郷（旅館・民宿が軒を連ねるエリア）周辺に400mトラック（陸上競技場）を整備し、トラック内にはサッカーコートを設けることで、陸上競技者だけでなく、サッカーやラグビーを始めとした多種多様な競技の合宿誘致をかなえることができる。 地域に開かれた拠点はさることながら、日本陸上競技連盟公認の陸上競技場を目指すことで、公認の大会が開催できるようになり、更なる中学・高校・大学・社会人チームの合宿誘致をねらう。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・水上村陸上競技場PR事業（委託料）500千円 ○拠点整備事業 ・新築（建築工事）147,912千円 ・建築工事監理（委託料）4,500千円 ・設備整備（トラック整備工事）1,275,000千円 ・整備工事監理（委託料）2,300千円 ・備品整備（購入費）80,476千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①雇用創出者数（+4人） ②村内年間宿泊者（+2,000人） ③当施設利用者数（+1,500人） ④記録会・新規イベント開催件数（+4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.mizukami.lg.jp/kiji0031236/index.html

事業概要：旧岩野小学校を活用した官民連携水耕栽培施設整備事業

継続

申請者	熊本県水上村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	50,000千円 (18,644千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	止まらない人口減少と少子高齢化及び地域産業の担い手不足と耕作放棄地の増加の課題を解決するため、本村でもアクセスに優れた廃校を農業施設として転用・活用し、最先端農業施設（水耕栽培施設）を導入することで、新たな高齢者の雇用創出や、教育の場としての活用、観光農園による観光客の増加、若者への農業関心を高め、将来の担い手の育成・確保を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 旧岩野小学校を農業施設として転用・活用し、本村と包括連携協定を締結した、植物工場の企画や栽培システムの研究等を手掛ける株式会社ハンモが、進出を機に設立される子会社により、ハーブ類、レタス、夏イチゴ等の生産を目指した最先端農業施設（水耕栽培施設）を導入する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 廃校（旧岩野小）を官民連携により水耕栽培施設へ整備 ・施設整備 3,500千円 ・設備整備 33,788千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①生産物の売上（+2.4億円） ②体験授業の年間実施数（+2回） ③観光農園の年間来園数（+4,854人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.mizukami.lg.jp/kiji0031236/index.html

事業概要：四浦地区交流拠点施設整備事業

継続

申請者	熊本県相良村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	96,090千円 (73,390千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・多様な世代（高齢者、子ども、若者、障がい者等）が気軽に集うことができ、誰もが生き生きと活動・交流等ができる、地域活性化となるよう、「ひと」×「もの」×「こと」をつなげ支え合う「地域の縁側」を目指す ・交流人口増加が見込まれ、農産物などの地域資源を活用した農業振興、雇用創出、村内だけでなく村外の住民の交流を促進する機能を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域住民が気軽に集える場、地元で生産された野菜やそれを使った弁当などを売り買いできる販売所、相良村四浦出張所の機能、四浦地区に伝わる伝統文化の体験イベント、趣味や特技を活かしたミニ講座、高齢者が活動する介護予防運動、公共交通サービスの地域拠点（コミュニティバスの待合所など）、観光面での交流人口拡大につながるなどの施設を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業（改築） ・建築物本体工事 66,658千円 ・管理業務委託 3,833千円 ・備品 キッチン一式 2,899千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客入込客数（+11,600人） ②新規雇用者数（+15人） ③地域販売等販売高（+7,100千円） ④新規参入企業者数（+2者）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.sagara.lg.jp/q/aview/71/2922.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：川辺川賑わい創出事業

継続

申請者	熊本県相良村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	772,976千円 (295,044千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・日本一の「川辺川」は体感できる場所や体験できるコンテンツが乏しく、観光客の滞在時間の向上につがっていない状況であり、交流人口の拡大、相良村の経済や観光への好循環を生み出せていない要因となっている。 ・そのため、満喫できるスポットにとして交流拠点施設を設置し、観光客や交流人口・関係人口の増加による新しい賑わい創出を図る。 ・川を活用した取組・体感できる施設整備により、相良村の発信力を高め、経済や観光への好循環を生み出し、地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 相良村の魅力・情報発信の機能、地域住民の集いの場、交流イベント等が実施できる場、伝統的漁法である鮎やな場、川辺川のほとりでできるキャンプ場、川辺川でのアクティビティ、川辺川の生物を身近に観察できるイベント、川辺川の自然環境を楽しむことができる親水広場、地域住民の健康促進機能など交流の拠点となる施設を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・用地造成 272,070千円 ・監理業務委託 22,974千円						
主なKPI	①観光客入込客数 (+12,500人) ②新規雇用者数 (+18人) ③地域物産等販売高 (+7,900千円) ④新規参入企業者数 (+2者)					URL	https://www.vill.sagara.lg.jp/q/aview/71/2922.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：遊水地利活用施設整備

新規

申請者	熊本県相良村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	200,266千円 (200,266千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	相良村の全域に水辺拠点を整備することにより各地域の特色や特性に応じた機能や魅力の向上、イベントや地域づくりを通じた関係人口や交流人口の増加、さまざまな人材や組織や企業との関わりを活かした地域再生と魅力ある村づくりにつなげる。また、各拠点や既存の温泉宿泊施設、村内観光スポットをつなぐ周遊ルートの形成により観光客や村外からの来訪、村内での滞留、再訪の増加につなげるとともに、誘客や地域物産販売の増加によって地場産業、地域経済の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 球磨川水系河川整備計画に基づき流域治水対策施設として整備される村内遊水地において、スポーツやイベントに利用できる交流拠点や流域治水対策や自然環境・景観保全の活動や学習フィールドとして関係人口の創出を図る水辺拠点を整備する。散策路は地元の散歩や健康増進として日常利用、張芝の休憩広場は広い範囲からの集客や滞留空間として常時開放し、多様な世代の交流を創出するイベント会場としても活用する。車泊スペースを備えた駐車場やトイレの整備は、村外からの来訪者が川辺川を安全かつ快適に利用する上で必要な機能として整備する。さらに、ホタル水路は地域住民と来訪者がともに作り育てる水路として自然共生の学びや地域づくりにおける産官学連携の場として機能させる。相良村の誇りであり最大の地域資源である「川辺川」を効果的に活用した水辺拠点と既存の観光施設と連携した川辺川のブランド化、新たな価値の創造によって村全体の集客力やイメージ向上を図るとともに地域振興や川辺川流域振興に寄与する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・用地造成 植栽工 30,131千円 園路広場整備工 68,672千円 建設施設組立設置工 8,815千円 自然育成施設工 10,842千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①関係人口の増加数 (+21,200人) ②観光客入込客数 (+13,500人) ③新規雇用者数 (+8人) ④地域販売等販売額 (+2,700万円)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.vill.sagara.lg.jp/q/aview/71/2922.html

申請者	熊本県五木村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	550,000千円 (200,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・本村の地域産業や観光振興の中心的な拠点施設である道の駅の温泉施設・交流館施設「夢唄」の温泉施設部分の建替えによる再整備を行い、道の駅全体の機能を強化することで観光・交流を促進し、本村における観光消費額の増加及び地場産業支援を図る。また、道の駅全体の機能強化により、集客力を高め物産館施設（山の幸）の付加価値向上を図ることができること、さらに、村内全域の出荷者の農作物や加工品を中心に販売する物産館施設（山の幸）の集客力を高めることにより、村内農業者等の出荷者の所得向上を図ることができ、地域経済の維持及び拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 温泉施設・交流館施設「夢唄」の温泉施設部分の建替による再整備により、浴室やサウナからの眺望により春の新緑、秋の紅葉など本村の景観の良さを楽しめる施設配置とすることで利用者の増加を図る。併せて、ランニングコスト抑制に配慮した施設規模、設備機能として整備することで維持管理コストを削減し、安定した営業を継続することで、利用者の継続した利用を促進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築物本体工事 128,500千円 ・工事管理委託 3,500千円 ・電気・機械設備工事 42,500千円 ・温泉設備工事 25,500千円						
主なKPI	①観光消費額（+39,085千円） ②温泉施設（夢唄）来場者数（+5,850人） ③観光入込数（+52千人） ④物産館施設「山の幸」来場者数（レジ通過人数）（+20,620人） ⑤五木村ファンクラブの会員数（+200人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：山江村官民共創地域振興拠点施設「栗の駅」整備事業

新規

申請者	熊本県山江村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,439,469千円 (1,230,073千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・ 特産品「やまえ栗」を核とした加工・販売機能を強化し、地場産業の付加価値向上（稼ぐ力の強化）と新規雇用の創出を図る。 ・ 買い物・福祉・交流などの生活サービスを拠点に集約・効率化し、将来の人口減少局面においても持続可能な生活環境モデルを構築する。 ・ エネルギーの自給自足と域内循環により、拠点運営の公費負担を低減させるとともに、他の福祉サービスへ還元する仕組みを確立し、将来にわたり自立的な地域経営を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 持続可能な地域社会の核となる拠点「栗の駅」を整備し、以下の4機能を構成。①直売所やカフェを整備し、地元産品や日用品販売、栗スイーツ等の提供により農家所得の向上と買物支援、来訪者の消費促進を図る。②文化資産の石蔵を活用した公園を整備し、多世代交流の場や災害時の避難機能を提供する。③民間による加工場・ショップを整備。原料(栗)出荷を村内加工へ転換し、高付加価値化を推進。④いが剥き機等を備えた集出荷施設を整備。生産者の省力化による生産体制を構築し、安定供給を実現。また、新商品開発やプロモーションにより稼ぐ力の最大化を図る。加えて、域内のエネルギー循環を図る太陽光発電や系統用蓄電池、EVチャージャーを統合配備する。					    	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・6次化産業の推進に係る新商品開発（委託料等） 1,367千円 ・施設のプロモーション費用(委託料等) 6,919千円 ○拠点整備事業（新築） ・拠点施設「栗の駅」（工事、監理委託、設計委託） 497,876千円 ・6次化ゾーン民間事業者施設整備（補助金） 56,000千円 ・再生可能エネルギー設備整備（工事） 664,830千円 ・「栗の駅」施設車両（EV車購入） 3,081千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①付加価値増加額（+190,322千円／年） ②雇用者数（+10人） ③栗の生産量（+47t） ④地域活性化事業に対する還元額（+10,601千円／年）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年9月公表予定

事業概要：あさぎり町の地域資源を活用した共創を軸とした町民活躍のまちづくり

旧制度（推進）

申請者	熊本県あさぎり町	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	35,800千円 （14,100千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	未来を共創するプログラムを通じて地域人材を育むことで、学生～社会人(域外含む)、主婦、移住者など、これからの地域を担う町民がともに学び、共創を通じて自らの手で暮らしを豊かにできる人を増やすまちづくりを推進。 関係人口/移住人口施策を強化するとともに、上記の町民活躍を支援するプログラムと連携し、地域の担い手を増やすことで、課題解決や魅力創出を推進。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「あさぎり町で繋がり、挑戦する」ことを目的とした未来共創プログラムを推進し、関係人口を増やすとともに、地域の魅力化に取り組むまちづくり人材を増やす。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○未来共創拠点を核としたまちづくり人材の育成プログラム「未来共創カレッジ」の推進 ・未来共創カレッジ開催経費（委託料）8,100千円 ○未来共創拠点および関係/移住人口創出にかかるシティプロモーションの実施 ・SNS向けショート動画シリーズ制作、特設サイト運用、記事制作経費（委託料）2,600千円 ○共創拠点のPR、短期滞在での関係/移住プログラムの実施 ・関係/移住人口創出プログラム実施経費（委託料）3,400千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域のUIターン数（+13人） ②関係人口創出数（+587人） ③共創イベント／ワークショップ開催数（+127回） ④関係人口創出インターンシッププログラム（+5回）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.asagiri.lg.jp/kiji0035078/index.html